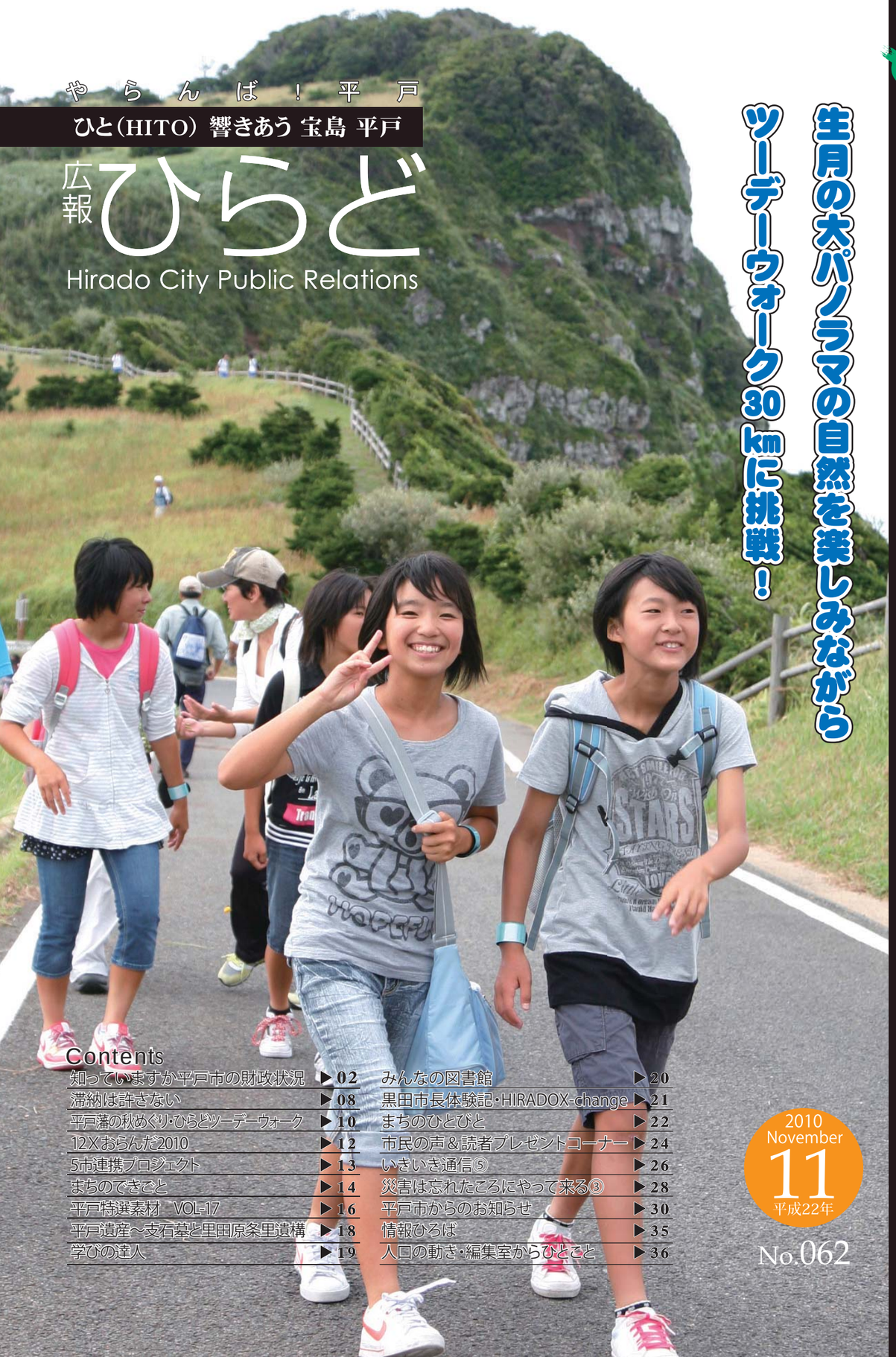
やらんば！平戸

ひと（HITO） 響きあう 宝島 平戸

広報ひらど

Hirado City Public Relations

生月の大パノラマの自然を楽しみながら ツーデーウォーク30㎞に挑戦！



Contents

知っていますか平戸市の財政状況	▶02	みんなの図書館	▶20
滞納は許さない	▶08	黒田市長体験記・HIRADOX-change	▶21
平戸藩の秋めぐり・ひらどツーデーウォーク	▶10	まちのひとびと	▶22
12Xおらんだ2010	▶12	市民の声＆読者プレゼントコーナー	▶24
5市連携プロジェクト	▶13	いきいき通信⑤	▶26
まちのできごと	▶14	災害は忘れたころにやって来る③	▶28
平戸特選素材　VOL-17	▶16	平戸市からのお知らせ	▶30
平戸遺産～支石墓と里田原条里遺構	▶18	情報ひろば	▶35
学びの達人	▶19	人口の動き・編集室からひとこと	▶36

2010 November 11 平成22年

No.062

Hirado City Public Relations

Hirado city Public Relations
2010.11 No.62
広報ひらど　平成22年11月号

古紙配合の再生紙を使用しています。
大豆油インキを使用しています。

［編集・発行］平戸市市民公室　〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
■TEL／0950-22-4111（代）FAX／0950-22-2419
■URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp ■E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
■印刷／有限会社ケンホクプリント

Challenge!! Cross Country

第13回 たびら中瀬草原クロスカントリー大会

12月12日（日）

受　付／午前８時～
開　会／午前９時～（クラス別にスタート）
ところ／中瀬草原（田平町大久保免）

玄界灘を望む起伏の激しい草原のコースに
チャレンジしてみませんか！

参加者募集!!

種　目

■1.0Km　ファミリー（幼児～小学３年生）
■1.5Km　小学４・５・６年男子・女子
■2.0Km　中学女子、壮年女子（40歳以上）
■3.0Km　中学１年男子、中学２・３年男子、高校女子、一般女子、壮年男子（40歳以上）
■5.0Km　高校男子、一般男子

参加料

■一般・壮年・ファミリー１組　1,500円
■高校生　800円　■小・中学生　500円

申込方法

申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えてお申し込みください。申込書は、生涯学習課、教育委員会各分室、各公民館に備えています。

申込締切日　11月19日（金）必着

お問い合わせ・申込み

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会
（教委田平分室内）Tel 57 - 0207　Fax 57 - 2557

◎今月の表紙

ひらどツーデーウォークからの１コマ。生月の雄大な自然を満喫できるコースは、参加者に大好評でした。その美しい景観を守るために、生月中男子バスケットボール部のみなさんが、15㎞のコースを、ごみを拾いながら歩きました。ただ歩くだけでもきつい道のりを袋いっぱいのごみを抱えながら、がんばりました。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。

◎人口の動き

■平戸市人口／36,395人（－31）
男性／17,046人（－9）
女性／19,349人（－22）
■世帯数　14,428戸（7）
※（）は、前月との比較
平成22年10月1日現在

Editorial

編集室からひとこと

ひらどツーデーウォークが、さわやかな秋風が吹く中、開催されました。私が取材した平戸北部・田平コースは、寺院と教会、オランダ商館、田平天主堂などや川内峠、中瀬草原などを巡り平戸の歴史と雄大な自然を身近に感じることのできる気持ちのいいコースでした。そして、とても楽しそうに歩いているみなさんの笑顔が、とても印象的でした。参加したみなさん、本当にお疲れ様でした。（小）

今月号で、「平戸特選素材」の掲載を終了しました。今まで取材にご協力くださった関係者のみなさん、本当にありがとうございました。取材を通して、平戸には、おいしくて魅力ある食材に溢れていると、改めて感じました。市外の人からも、「平戸には、おいしい食材が、たくさんあっていいね」と言われます。この食材を支えている、生産者のみなさんの惜しみない努力があってこそだと思います。（原）

知っていますか？ 平戸市の財政状況

平成21年度の決算状況についてお知らせします。

市では、毎年２回「市の財政事情」を公表していますが、今回は、平成21年度の決算の状況についてお知らせします。また、平成22年度上半期（４月～９月）の予算執行状況、市有財産、市債残高などについてもお知らせします。

お問い合わせ　財政課財政班　☎内線2354

決算報告

2億3,120万円の黒字決算

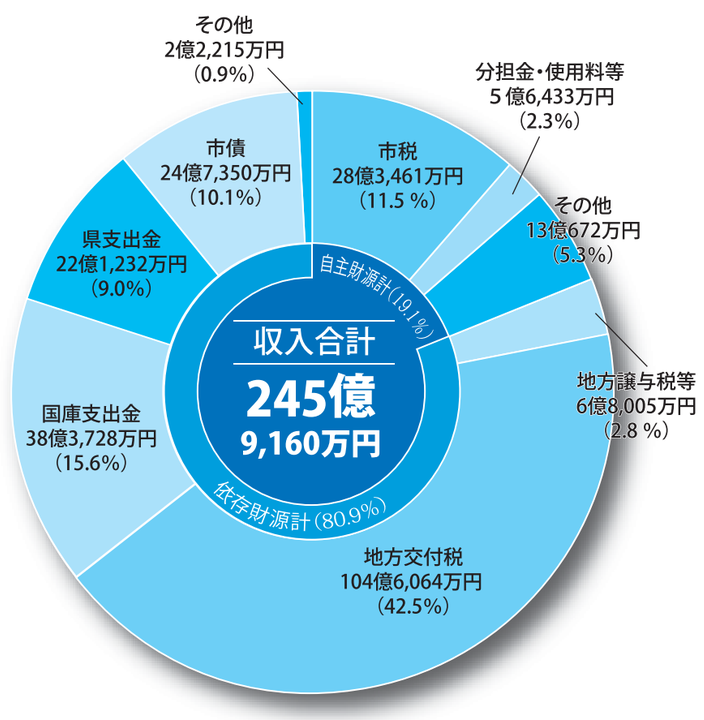
平成21年度一般会計の決算額は、収入245億9,160万円、支出237億6,325万円でした。そのうち平成22年度へ事業を繰り越して使う資金などを差し引いた実質的な収支は、2億3,120万円の黒字で、引き続き基金を取り崩すことのない収支のバランスがとれた決算となりました。

収入・支出とも前年より大きく増加していますが、これは国の景気対策による公共事業の増加や、雇用の拡大を図ったことが影響しています。

◎決算の状況（一般会計）

区　分	平成21年度	平成20年度	対前年度増減額
収　入　総　額	245億9,160万円	226億8,186万円	19億　974万円
支　出　総　額	237億6,325万円	221億　127万円	16億6,198万円
差　引　額	8億2,835万円	5億8,059万円	2億4,776万円
翌年度繰越額	5億9,715万円	4億5,632万円	1億4,083万円
実　質　収　支	2億3,120万円	1億2,427万円	1億　693万円
貯金の取り崩し	0万円	0万円	0万円

◎収入の内訳グラフ



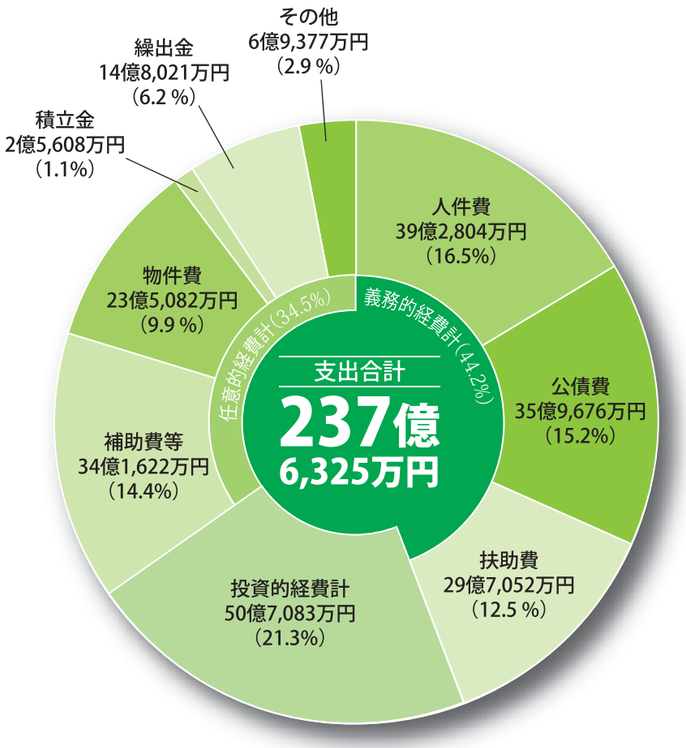
一般会計収入

市の自主財源が19.1%

平成21年度に収入した総額は、245億9,160万円でした。その内訳は、市税や使用料などの市で賄える「自主財源」が19.1%、地方交付税や国県支出金、市債（借入金）などの「依存財源」が80.9%でした。

前年度と比較すると、景気低迷の影響で市税が3.5%減少となっていますが、地方交付税や国県支出金の増加により全体では8.4%増加しています。

◎支出の性質別内訳グラフ



一般会計支出

前年度より16億円の増加

平成21年度に支出した総額は、237億6,325万円でした。平成20年度決算と比べて、約16億円の増加となっています。

この支出はその性質により、大きく三つに分類されます。人件費、公債費、扶助費のように支出が義務づけられ、任意に節減できない経費を「義務的経費」、道路整備や学校施設などの建設に関する経費を「投資的経費」、義務的経費・投資的経費以外の支出を「任意的経費」といいます。

支出をこの性質別に見てみると、義務的経費が約104億円で44.2%、投資的経費が約51億円で21.3%、任意的経費が約82億円で34.5%となっています。

支出の主な増減要因を見てみると、人件費が減少していますが、これは継続して、職員数の適正化を実施したためです。

そして、公債費は減少していますが、これは、高利率で借り入れた借金を、平成19年度から平成21年度までの３カ年で、前倒して返済したことによるものです。

また、国の景気対策予算を活用し、雇用の拡大や夢ロマン振興券の販売、道路や学校施設などの公共施設の整備を行いました。これにより、補助費等や物件費、投資的経費が、大幅な増加となっています。

◎支出の内訳

区　分	平成21年度	構成比	対前年度増減額	増減比
人　件　費	39億2,804万円	16.5%	−4,106万円	−1.0%
公　債　費	35億9,676万円	15.2%	−2億5,057万円	−6.5%
扶　助　費	29億7,052万円	12.5%	−1,736万円	−0.6%
義務的経費計	104億9,532万円	44.2%	−3億　899万円	−2.9%
補助費等	34億1,622万円	14.4%	7億2,564万円	27.0%
物　件　費	23億5,082万円	9.9%	3億9,706万円	20.3%
積　立　金	2億5,608万円	1.1%	−4億4,772万円	−63.6%
繰　出　金	14億8,021万円	6.2%	−5,860万円	−3.8%
そ　の　他	6億9,377万円	2.9%	−1,372万円	−1.9%
任意的経費計	81億9,710万円	34.5%	6億　266万円	7.9%
投資的経費	50億7,083万円	21.3%	13億6,831万円	37.0%
合　計	237億6,325万円	100.0%	16億6,198万円	7.5%

市民一人当たり64万9,553円を支出

※平成22年3月31日現在人口36,584人で計算

主要事業

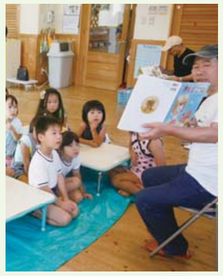
市では、市民のみなさんから納めていただいた税金や、国からの交付金、補助金などの財源を使い、効率的な財政運営に努めながら、効果的に市民のみなさんが未来に夢と希望を抱けるまちづくりの推進のためにいろいろな事業を実施しています。ここでは、その主な事業についてお知らせします。

⑤土木費

■主な経費の内容
道路や市営住宅整備など、まちづくりのための経費

21億　413万円
構成比8.9%

市民一人当たりの決算額
57,515円



①民生費

■主な経費の内容
高齢者や障害者、児童福祉などの推進や生活保護などの経費

51億2,859万円
構成比21.6%

市民一人当たりの決算額
140,187円

⑥農林水産費

■主な経費の内容
農林水産業の振興策として、担い手の育成や生産向上のための経費

21億8,752万円
構成比9.2%

市民一人当たりの決算額
59,795円

②総務費

■主な経費の内容
地域振興や戸籍、税務など市役所全体業務の経費

35億2,548万円
構成比14.8%

市民一人当たりの決算額
96,367円

⑦消防費

■主な経費の内容
市民の生命や財産を守るための消防活動や防災対策の経費

7億7,412万円
構成比3.3%

市民一人当たりの決算額
21,160円

③衛生費

■主な経費の内容
健康診断や予防接種、ごみの回収処理などの経費

26億9,207万円
構成比11.3%

市民一人当たりの決算額
73,586円

⑧商工費

■主な経費の内容
交流人口の拡大による観光振興や地域産業の振興などの経費

9億　414万円
構成比3.8%

市民一人当たりの決算額
24,714円

④教育費

■主な経費の内容
小中学校の施設の整備、文化やスポーツの振興などの経費

23億9,555万円
構成比10.1%

市民一人当たりの決算額
65,481円

その他の支出項目

⑨公債費

道路整備や学校建設など、まちづくり推進のために借り入れた市債の元金と利子の支出

35億9,676万円
構成比15.2%

市民一人当たりの決算額
98,315円

⑩議会費

市民のみなさんの代表機関である市議会の運営や機能充実などのための経費

1億9,742万円
構成比0.8%

市民一人当たりの決算額
5,396円

⑪災害復旧費

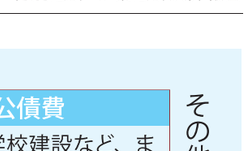
農地や道路などの機能回復および保全、地域の安全などを図るための災害復旧経費

1億8,915万円
構成比0.8%

市民一人当たりの決算額
5,170円

特別会計

※特別会計とは…
　国民健康保険は国民健康保険税で、介護保険は介護保険料でといったように、特定の収入で特定の支出をまかなう仕事をまとめた会計です。



区　分	歳　入	歳　出	歳入歳出差引
国民健康保険（事業勘定）	51億6,949万円	50億9,772万円	7,177万円
国民健康保険（度島直診勘定）	6,400万円	6,400万円	0万円
国民健康保険（大島直診勘定）	1億3,268万円	1億3,268万円	0万円
老人保健	823万円	822万円	1万円
後期高齢者	3億7,433万円	3億7,065万円	368万円
介護保険（保険事業勘定）	33億4,321万円	33億1,820万円	2,501万円
介護保険（サービス事業勘定）	3,033万円	3,033万円	0万円
農業集落排水事業	2,311万円	2,311万円	0万円
宅地開発事業	6万円	6万円	0万円
あづち大島いさりびの里事業	3,542万円	3,542万円	0万円
電気事業	2,255万円	2,255万円	0万円
給与管理	34億3,101万円	34億3,101万円	0万円

企業会計

※企業会計とは…
　税金ではなく、民間企業と同じようにその仕事自体に収益があり、その収益で支出を賄う仕事をまとめた会計です。

水道事業		収益的収支	収　入	8億3,805万円	剰余金については、一部、減債積立を行い、残額を翌年度に繰り越しました。
			支　出	8億1,067万円	
			差引額	2,738万円	
		資本的収支	収　入	16億8,385万円	不足する額については、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金および現年度分損益勘定留保資金で補てんしました。
			支　出	19億8,510万円	
			差引額	−3億　125万円	
病院事業		収益的収支	収　入	22億2,138万円	剰余金については、前年度から繰り越した欠損金に充てました。
			支　出	21億7,329万円	
			差引額	4,809万円	
		資本的収支	収　入	2億2,921万円	不足する額については、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。
			支　出	2億8,645万円	
			差引額	−5,724万円	
交通船事業		収益的収支	収　入	1億3,581万円	
			支　出	1億3,581万円	
			差引額	0万円	
		資本的収支	収　入	0万円	不足する額については、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金および減債積立金で補てんしました。
			支　出	2,453万円	
			差引額	−2,453万円	

財政状況

限られた予算の中でまちづくりを実施中

―平成22年度上半期（4月～9月）の収入および支出の状況―

（平成22年9月30日現在）

◎一般会計（収入）

区　分	予算現額	収入済額
地方交付税	102億8,700万円	71億9,935万円
市　債	31億3,780万円	0万円
市　税	27億6,099万円	10億　427万円
国庫支出金	27億5,990万円	8億7,432万円
県支出金	21億1,014万円	2億8,734万円
繰　入　金	2億1,986万円	0万円
分担金・負担金	2億7,369万円	1億　709万円
そ　の　他	13億4,350万円	7億6,767万円
収入合計	228億9,288万円	102億4,004万円

◎一般会計（支出）

区　分	予算現額	支出済額
民　生　費	57億4,651万円	18億5,345万円
総　務　費	25億9,943万円	5億4,103万円
公　債　費	33億2,975万円	16億1,997万円
衛　生　費	25億8,212万円	10億8,269万円
土　木　費	22億2,525万円	1億　566万円
農林水産業費	16億9,347万円	1億6,200万円
教　育　費	25億2,773万円	4億6,103万円
そ　の　他	21億8,862万円	5億4,256万円
支出合計	228億9,288万円	63億6,839万円

◎特別会計

区　分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険（事業勘定）	54億2,953万円	17億4,754万円	22億2,324万円
国民健康保険（度島直診勘定）	5,994万円	883万円	755万円
国民健康保険（大島直診勘定）	1億2,984万円	2,565万円	2,866万円
老人保健	160万円	72万円	0万円
後期高齢者医療	3億7,957万円	1億1,295万円	1億1,694万円
介護保険（保険事業勘定）	34億　145万円	12億4,214万円	13億7,822万円
介護保険（サービス事業勘定）	3,262万円	891万円	1,392万円
農業集落排水事業	2,338万円	81万円	1,013万円
宅地開発事業	1,214万円	0万円	5万円
あづち大島いさりびの里事業	1,361万円	0万円	578万円
電気事業	1,986万円	559万円	704万円
給与管理	36億8,838万円	0万円	17億9,205万円

◎企業会計

区　分		予算現額	収入済額	支出済額
水道事業	収益的収支	8億2,602万円	4億4,350万円	2億2,748万円
	資本的収支	14億3,449万円	4,941万円	1億3,159万円
病院事業（平戸市民病院）	収益的収支	15億3,300万円	7億5,703万円	6億3,831万円
	資本的収支	3億　764万円	3,590万円	7,063万円
病院事業（生月病院）	収益的収支	8億1,500万円	4億2,367万円	3億5,279万円
	資本的収支	7,036万円		558万円
交通船事業	収益的収支	1億4,936万円	4,635万円	6,052万円
	資本的収支	2,436万円		1,214万円

◎市民一人当たりの市税負担額の状況

区　分	金　額
個人市民税	26,792円
法人市民税	3,231円
固定資産税	36,208円
軽自動車税	2,419円
市たばこ税	4,885円
入　湯　税	808円
そ　の　他	1,519円
総　額	75,862円

（H22.9.30現在人口　36,395人）

◎市債の残高（市民1人当たり 99万7,892円）

区　分	残　高
一般会計	279億8,397万円
水道事業	61億6,580万円
病院事業（平戸市民病院）	17億3,428万円
病院事業（生月病院）	8,208万円
交通船事業	1億8,316万円
国民健康保険（直診勘定）	1,059万円
農業集落排水事業	1億2,380万円
電気事業	3,460万円
合　計	363億1,828万円

◎財産の状況

区　分	面積・金額
土　地	980万797㎡
建　物	25万804㎡
有価証券	1,355万円
基　金	73億3,918万円
債　権	4億1,278万円
出資金	6,367万円
出捐金	1億94万円

◎一時借入金の状況

平成22年9月30日現在は、ありませんでした。

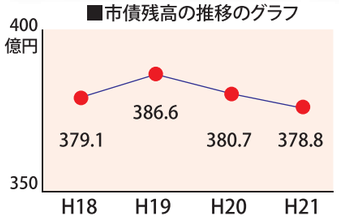
財政指標

チェック

市債残高（全会計）

減少したものの依然として高い残高水準

■市債残高の推移のグラフ



市の借入金である市債は、原則として新規の発行額を元金返済額以下に抑えるとともに、利率の高い市債の繰上償還を実施して、残高の圧縮に努めました。また、地方交付税の措置が受けられる有利な市債を活用しています。

この結果、市債の残高は昨年度から減少していますが、今後も厳しい財政運営が見込まれることから、更なる財政の健全化を進めながら、後年度の公債費負担の軽減を図ります。

健全化判断比率と資金不足比率

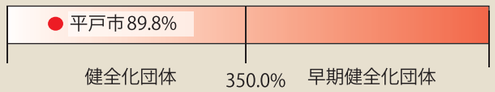
すべてにおいて判断基準内の財政状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年に制定され、「財政健全化判断比率」と「資金不足比率」の財政指標の公表が平成19年度決算から義務付けられました。

これらの指標は、市全体の財政状況を「早期健全化(イエローカード)」と「財政再生(レッドカード)」の2段階でチェックするもので、次の5つの指標により判断します。

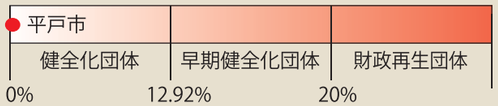
なお、それぞれの指標ごとに一定の基準が設けられていて、その基準を上回る財政状況の悪い団体は、財政の健全化(再生)に向けた計画の策定・実行が国より義務付けられます。

④将来負担比率（89.8%）



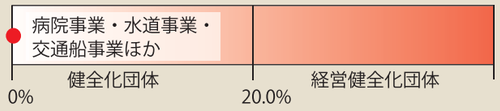
一般会計が将来負担すべき負債の大きさを示すもので、数値が大きいほど将来的に財政が圧迫される可能性が高いと言えます。平成21年度は、前年度から21.0ポイント改善し89.8%となりました。

①実質赤字比率（該当なし）



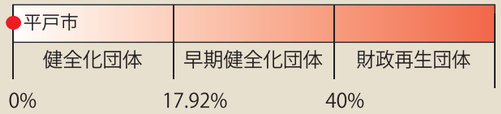
一般会計の実質的な収支が、赤字であるかどうかを示すものです。平成21年度は黒字のため該当ありませんでした。

⑤資金不足比率（該当なし）



公営企業ごとの資金不足による経営状況の悪化を示すもので、数値が大きいほど経営状況が厳しいと言えます。平成21年度では、すべての会計で該当ありませんでした。

②連結実質赤字比率（該当なし）

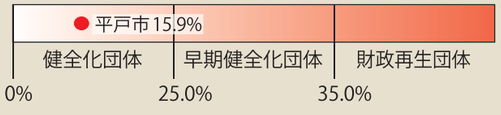


①同様の指標で、一般会計および水道事業や病院事業など全ての会計を含めた市全体の赤字を示すものです。平成21年度は黒字のため該当ありませんでした。

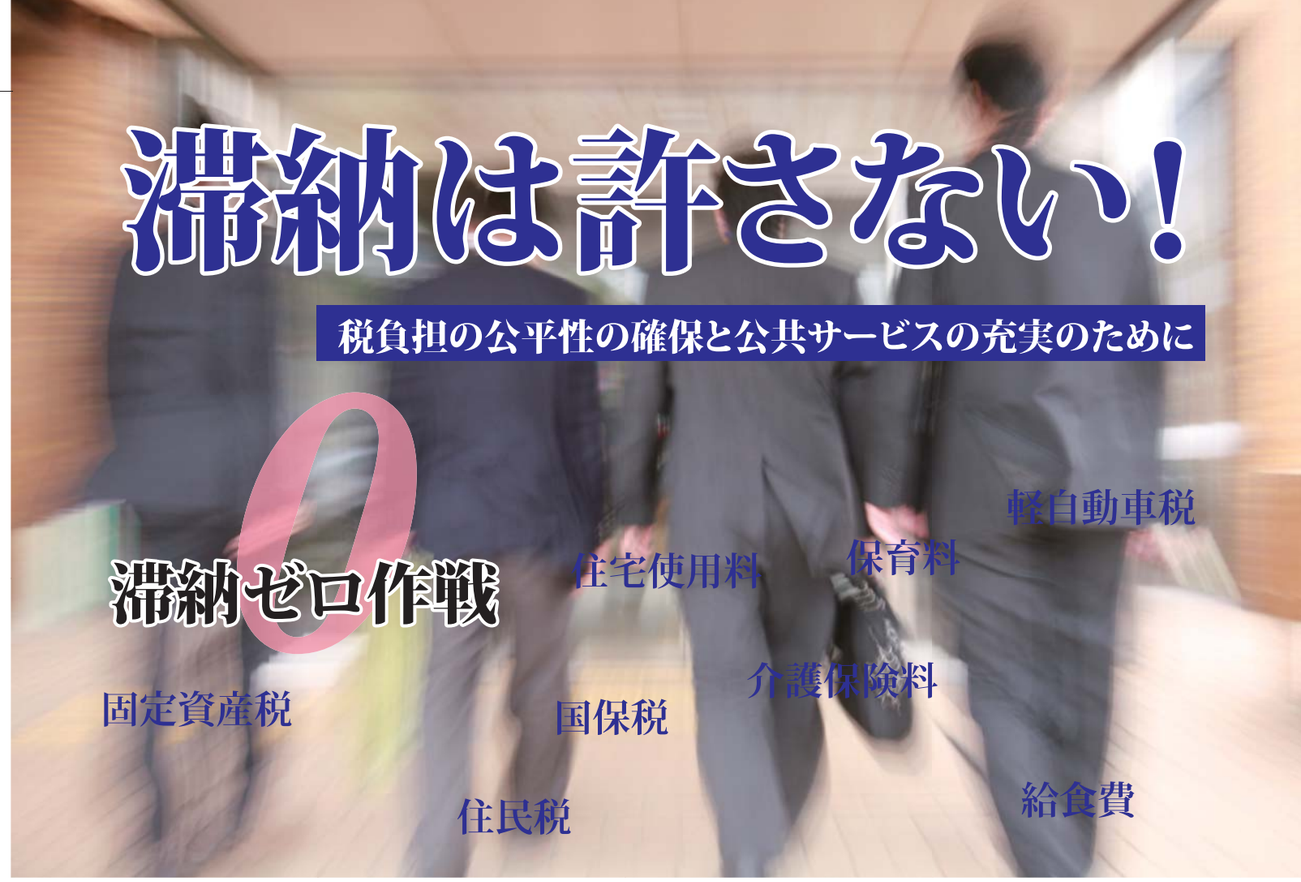
判断基準クリア

このように平成21年度決算では、前年度に引き続き、全ての比率において基準値を下回っており、引き続き財政の健全性は保たれています。しかし、長引く景気の低迷や人口減少などさまざまな要因から、今後も厳しい財政運営であることには変わりありません。このことから、今後も、いかに少ないコストで、「市民のための施策」を行っていけるのかを考えながら実施していく必要があります。

③実質公債費比率（15.9%）



市の借金返済の負担を示す指標で、数値が大きいほど借金の返済に使うお金が大きい状況にあると言えます。平成21年度は15.9%でした。



「滞納は許さない」を合言葉に滞納対策を実施中

平成19年度から取り組んだ滞納対策により、平成21年度までの3年間で約2億2千5百万円の未収金を解消できましたが、本来、市民サービスに活かされるはずの約5億4千6百万円（平成21年度決算）が未収金となっています。（グラフ1・表1参照）　今月号では、納期内に納付している多くの市民のみなさんとの税負担などの公平性の確保を図るために、現在取り組んでいる滞納対策についてお知らせします。

全庁一丸となった滞納対策

平成19年度に行革管理課に滞納対策室を設け、全庁的な税外収入金（保育料や住宅使用料など）の徴収強化を図りました。さらに、平成21年度からは、この業務を税務課へ移管し、市税と税外収入金も含め、全庁一丸となり滞納対策の強化を図っています。

また、平成20年4月に、適正な債権管理の徹底を図ることを目的とした「債権管理条例」を施行し、副市長を委員長とする「市債権管理対策会議」を設置し、関係各部との連携を図りながら、対策を強化しています。

さらに、平成21年4月に、県と県内23市町が協働して、市県民税を中心とした滞納整理を強化するために、「長崎県地方税回収機構」を設立。この組織に参加して、長期累積滞納者に対しての家宅捜索を中心とした、滞納処分を行っています。

市税・保育料などの公課については、直接市が差し押さえできることから、預貯金や給与、生命保険などの債権差押や家宅捜索による動産の差押えなど、徹底した滞納処分を実施しています。

市営住宅の使用料や給食費など私債権については、裁判所に支払督促申立や住宅明渡訴訟を実施しています。（表2参照）

滞納は放置せずに必ず納付相談を！

病気や災害など、特別の事情があり納期限までに納付できない人は、必ず納付相談を行ってください。分納など今後の納付計画を相談することができます。

また、今までの相談ケースの中で、納付相談をしたことにより、多重債務が判明し、弁護士や司法書士への相談を促して債務整理ができた事案があります。

このような事案の中に、過払い金が発生していたため、消費者金融等へ過払い金請求を行い、滞納金の完納につながった事例が多数あります。

多重債務の場合は、家庭や仕事など、さまざまな事情が絡んでいることから、なかなか他人に相談しにくいものですが、一人で抱え込まずに、まずは、ご相談ください。

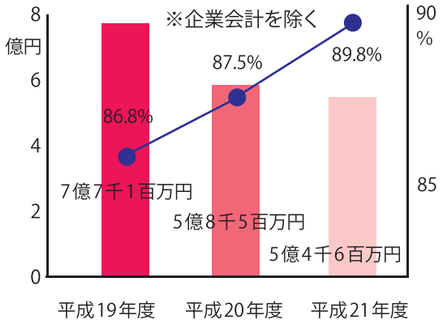
納付相談は随時受け付けています。時間外、休日でも、事前に予約があれば対応可能です。早めにご相談ください。

□お問い合わせ
税務課滞納整理班
☎内線２５４３

●累積未収額の内訳の推移（表1）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市税	3億1千5百万円	2億3千4百万円	2億1千6百万円
保険税	3億6千8百万円	2億7千9百万円	2億6千6百万円
保育料	1千5百万円	1千1百万円	9百万円
住宅使用料	1千1百万円	1千万円	1千1百万円
介護保険料	3千5百万円	2千6百万円	2千万円
学校給食費	8百万円	6百万円	6百万円
他債権	1千9百万円	1千9百万円	1千8百万円
合計額	7億7千1百万円	5億8千5百万円	5億4千6百万円

●累積未収額と収納率の推移（グラフ１）



●市税滞納処分件数（表２）

		平成19年度	平成20年度	平成21年度
差押件数	債権	201件	637件	796件
	動産	0件	37件	101件
	不動産	10件	28件	9件
	自動車など	1件	44件	38件
家宅捜索		0件	19件	70件
私債権（住宅使用料・給食費など）処分件数		平成20年度	平成21年度	平成22年度（9月末現在）
支払督促申立		2件	1件	24件
住宅明渡訴訟		1件	3件	0件

Information　差押財産の公売会を実施します

市町合同で、差押財産の公売会を開催します。市民のみなさんのご参加をお願いします。

●長崎県市町合同公売会in諫早

と　き　11月13日（土）　午前９時　受付開始
ところ　諫早市多良見体育センター
諫早市多良見町化屋1808-1
※電化製品・骨董品など300点を出品予定。

●長崎県市町合同公売会in平戸

と　き　12月19日（日）　午前８時30分　受付開始
ところ　平戸文化センター大ホール
※電化製品など390点を出品予定。目玉物件など数点のせり売りも予定しています。

●そのほか、インターネット公売や市役所玄関ロビーで期間入札を実施しています。詳しくは、市ホームページでご確認ください。

Interview　委員長に聞く

悪質な滞納者には厳しい姿勢で

納税は、教育、勤労と並ぶ国民の三大義務のひとつです。市民生活や福祉の向上、安全安心のための基盤整備、教育施策など、多くの市民サービスは、この税金によって賄われています。

本市では特に、市税の１パーセントを市民参加の協働によるまちづくり事業（地域コミュニティ活動推進事業補助）に活用しています。

また、住宅使用料や保育料などは、未納が多額になると、財源が不足し、ひいては、市民サービスに影響を及ぼします。

このことから、税負担の公平性の確保と公共サービスの充実のために、悪質な滞納者に対しては、厳しい姿勢で滞納処分に取り組みます。市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

債権管理対策会議委員長
新井　忠洋副市長

平戸路をゆるり 優雅に歩く

ひらど 2010 Vol.4 ツーデーウォーク

3

1

2

4

5

6

９月25日、26日の両日、「第４回ひらどツーデーウォーク2010」が開催されました。教会群とオランダ商館をめぐる平戸北部・田平コースと西海国立公園の大パノラマを見る生月コースに、市民のみなさんをはじめ、遠くは宮城・埼玉から延べ2,274人が参加。参加したみなさんは、美しい自然景観や歴史的建造物を見学しながら楽しそうに歩いていました。

また、平戸・生月を歴史・自然観光ガイドが案内するエコウォークを併せて開催。遠くは東京などから参加した103人のみなさんは、平戸の歴史文化遺産や自然景観、珍しい植物の説明を受けながら歩きました。参加したみなさん、汗と笑顔の完歩、お疲れ様でした。

7

8

①平戸大橋で強い風に負けずピース！②中瀬草原で圧倒的な自然をバックに肩を寄せ合う。③大バエ灯台の下、大川原小学校5年生６人で記念撮影。④生月で、草原、海、断崖と大スケールの自然に触れる。⑤生月の雄大な自然を望みながらの昼食。⑥沿道で応援する愛の園保育園児童に応える参加者。⑦平戸の名所「寺院と教会の見える風景」を抜け、続くはオランダ商館へ。⑧田平天主堂の前を歩く。

平戸・生月大橋無料化記念

カステラサミットin平戸開催！

～カステラのルーツは平戸にあり!知られざる食文化を探る!!～

Kuroda Naruhiko
▲黒田　成彦市長（コーディネーター）

João Pedro Zanatti
▲ジョアン・ペドロ・ザナッティ氏（駐日ポルトガル大使）

Ego Michiko
▲江後　迪子氏（食文化研究家）

Wakiyama Hisako
▲脇山　壽子氏（株式会社入来屋代表取締役社長）

Urabe Tomoyuki
▲浦部　知之氏（平戸城施設長）

Okayama Yoshiharu
▲岡山　芳治氏（松浦史料博物館学芸員）

1

5

2

4

3

10月９日、10日の両日、平戸文化センターでカステラサミットが開催され、カステラを通して日本の食文化を探る“過去・現在・未来”をテーマに行われたシンポジウムには、黒田市長をコーディネーターに、ザナッティ駐日ポルトガル大使のほか４人のパネリストが参加。日本で最初にポルトガルと交易を始めた平戸の重要性やカステラが平戸から日本全国に伝わったことなどを紹介。その後、平戸菓子工業組合による新商品「平戸南蛮カステラ」も発表され、シンポジウムに招待を受けた460人が無料で試食。ザナッティ駐日ポルトガル大使からは、世界に通用するお菓子と高評価を受けました。「平戸南蛮カステラ」は、市内のそれぞれの菓子店舗で順次販売されます。

10日には、カステラサミットのもう一つの目玉、「日本カステラ展」や「カステラバイキング」が行われ、47都道府県100種類以上のご当地カステラを求めて、市内外からたくさんの人が訪れました。

①会場には、抽選の結果で招待を受けた参加者が真剣にシンポジウムに耳を傾けました。②47都道府県のカステラが並んだ展示ブースに興味津々。③発表された「平戸南蛮カステラ」④同会場で披露された度島の「盆ごうれい」。⑤カステラバイキングには、約600人が訪れ、日本全国のカステラを味わっていました。

平戸城下に風が舞う

９月18日、19日の両日、平戸港交流広場で、「平戸南風夜風人まつり～秋の陣～」が開催され、地元の踊り連である「風神社中」や「西風舞人」をはじめ、遠くは、香川県など県内外から28チーム約400人が参加しました。前夜祭と大会当日、両日ともに、天候にも恵まれ、心地よい秋風を感じる中、熱く威勢の良い掛け声と太鼓や鳴子の音が響きわたりました。舞台上の一体感が会場全体へと広がり、ハイヤを通じて強い絆が生まれ会場全体が躍動しました。

平戸藩の秋めぐり

自治体連携1

5市連携で観光資源を売り込む
～東アジア観光振興で広域連携～

9月29日、福岡市役所で平戸市、雲仙市、福岡市、武雄市、嬉野市の5市全市長が出席し「東アジア誘客3県都市連携会議」が開催されました。この都市連携会議は、3県5市が県境を越えて、台湾をはじめ中国、韓国などからの観光客を呼び込むことをもくてきとして設立されたものです。

初代会長には、黒田市長が選出され、福岡を玄関口に九州北西部の5市を周遊する魅力的なコースを練り上げ、多彩な観光資源を共同で売り込むことを確認しました。この会議の設立のきっかけは、4月に台湾を訪問した黒田市長が、現地の観光関係者から「4泊5日の観光ツアーが組めないか」と提案を受けたのが発端。

本市は、日中両国の大英雄「鄭成功」の生誕地として、台湾との交流も深いことから、5月の九州市長会で温泉やグルメなどの観光資源や台湾航路がある4市に参加を打診し実現しました。

早速、11月5日から8日に台湾の台北市で開催される台湾最大の国際旅行の見本市「台北国際旅行博」に5市共同で観光案内のブースを出展。市長自ら出向き、各市の観光資源をPRするためのトップセールスを行います。

その上で、台湾の旅行業者と協議しながらツアー商品を開発し、その後、ターゲットを中国、韓国に広げていくことにしています。

外国人観光客の視点に立てば、国内の自治体の枠など関係なく、周遊コースの魅力の有無こそが選択の基準となっているといわれています。

▲(左から)奥村雲仙市長、樋渡武雄市長、黒田平戸市長、谷口嬉野市長、吉田福岡市長

こうした中で、特定の課題に取り組むために県境を越えて市レベルで連携することは、全国的に見て異例で画期的だと注目されています。

今後、連携会議による東アジア観光客誘客戦略の成果が期待されるところです。

■お問い合わせ
観光物産振興課観光振興班
内線☎2271

自治体連携2

デ・リーフデ号のご縁で、臼杵市と城下秋まつり「ふぐ鍋」で友好スタート

大分県臼杵市は、オランダ貿易のきっかけとされるデ・リーフデ号が漂着したところですが、そのご縁によってこの度、黒田市長が臼杵市役所を訪問し、九州の東と西の横断軸連携で協力を呼びかけました。

臼杵市とは、本市の「木ケ津千灯篭まつり」が、「うすき竹宵」を参考に始まったことや、「平戸オランダ年」の際、平戸からサイクリングループが臼杵を訪問したことがきっかけで友好交流が行われています。

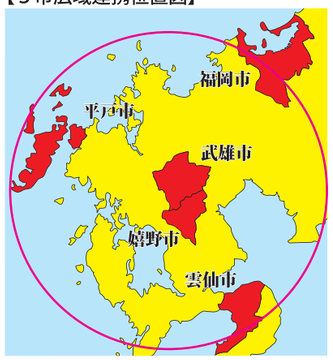
また、5月の「按針忌」には、臼杵市からの訪問団をお迎えしました。

今後、両市の連携によるまちづくりにも大きな期待が寄せられます。

▲臼杵市役所に訪問し、中野五郎市長と固い握手を交わす黒田市長

■お問い合わせ
企画課協働まちづくり班
内線☎2331

【5市広域連携位置図】



12xHolland editie 2010
12xおらんだ 2010年版
今年の参加者を紹介します

12xおらんだ
www.12xHolland.nl
12xHolland
Hirado, Japan

2000年の「日蘭交流400周年記念事業」で始まり、今年で11回目を迎える「12xおらんだ」。今年はオランダで活躍している2人の彫刻家が平戸に一か月間滞在し、それぞれの作品を製作し、ワークショップ、発表会の開催、平戸の伝統文化、日常生活などの体験を通じて、オランダと日本とのさまざまな交流を行います。

■滞在日程　10月31日(日)～11月28日(日)

Ida Kleiterp／Stone sculptures

イダ・クライテルプ(62)／石の彫像

プロフィール

ベーベルワイク生まれ。デン・ハーグの自由学院、アムステルダム国立造形芸術学院にて彫刻、アムステルダム自由大学で人類学を専攻。彼女の彫刻作品はオランダをはじめ、世界各国で見ることができる。

～12xおらんだでの主な活動～

石を使った彫像制作のワークショップを開催し、一般の参加者と一緒に作品の制作を行う。また、日本式の製本(和装本)を体験する。

Anneke Hermkens／Metal sculptures

アネケ・ヘルムケンス(54)／金属の彫像

プロフィール

マーストリヒト生まれ。ユトレヒト芸術学院卒業。専攻はモニュメント製作。1992年より鉄材を材料とした彫像制作に取り組む。彼女の作品に使用する鉄材は、リサイクルのために廃材となった廃鉄材を用いている。

～12xおらんだでの主な活動～

金属を使った彫像の制作のほか、ワークショップでは、廃鉄材を使った作品の制作を行う。また、書道、生け花、日本料理などを体験する。

■12xおらんだ活動スタッフと交流希望者を募集しています　VOLUNTEER STAFF WANTED

来平する芸術家との交流希望者や活動のサポートをしていただけるスタッフをまだまだ募集しています。
興味がある人は市長公室政策推進班まで、どなたでもお気軽にお問い合わせください。

●参加者として
どんな活動をしているか知りたい、一緒に活動してみたい、芸術家と交流したいなど、通訳以外は英語が話せなくても大丈夫です。また、都合のつく範囲の参加で結構です。

●スタッフとして
①英語の通訳(日常会話程度)として協力できる人
②ワークショップや発表会のお手伝いをしていただける人

■お問い合わせ　市長公室政策推進班(☎内線2483)

●12xおらんだ公式ホームページ
http://www.12xholland.nl/
12xおらんだ2010　検索

田平中が男女アベック優勝

10月5日、久吹ダムの周回コースで、「市中学校総合体育大会駅伝競技」が行われ、市内の中学校9校が参加しました。男子の部が6区間20㎞、女子の部が5区間12㎞で行われました。

白熱したレースの結果、田平中学校男子が4年ぶり2回目の優勝、女子が初優勝。大会結果は次のとおり

【男子の部】優　勝　田平中（1時間6分42秒）
　　準優勝　生月中・3位　度島中
【女子の部】優　勝　田平中（45分3秒）
　　準優勝　度島中・3位　中部中

優雅なひと時を満喫！

10月2日、天桂寺（田助町）で、「ながさき音楽祭2010」～和の神髄～尺八本曲の世界（県など主催）と題したコンサートが行われました。

開演前には、幕末の維新志士が訪れた「永山邸」の披露と呈茶が振る舞われました。

日本を代表する国際的尺八演奏家の田嶋直士さんの演奏と、平戸市出身の町田歌順さんと町田歌英さん姉妹による琴の競演。お寺の境内に、心和む優雅な和楽器の音色が響き、訪れた約100人のみなさんは、時間が止まったような優雅なひと時を満喫しました。

今年も豪華客船が平戸に入港！

10月8日の早朝、大型客船「ぱしふぃっくびいなす」（2万6594㌧）が、本市の川内港に入港しました。神戸港を起点にクルーズの途中に立ち寄ったもの。寄港直後、船内では歓迎セレモニーが行われ、黒田市長の歓迎あいさつや記念品交換、花束贈呈が行われた後、中津良保育所の園児による太鼓が演奏されると、会場に集まった乗客のみなさんから大きな拍手があがりました。その後、約300人の乗客のみなさんは、生月島内や教会群をめぐる観光など平戸での一日を楽しみました。

地元のおいしい魚をもっと食べよう！

10月13日、中野中学校で「お魚教室」（県北地区漁業士会主催・福畑敏光会長）が行われ、2年生18人が参加しました。この教室は、子どもたちに、もっと魚を食べてもらうために行われているもので、平戸市漁協青年部連合会会長の大石克徳さん（川内町）と、県から地域漁業のリーダーとして認定を受けている漁業士の綾香良浩さん（主師町）が、魚のさばき方などを実演して指導。その後、生徒のみなさんはグループに分かれて、アジやヒラス、イカを使った料理づくりに挑戦しました。

小学校陸上競技大会

10月7日、市総合運動公園ライフカントリーで、「第6回平戸市小学校陸上競技大会」が小学5・6年生が参加して開催。100m走などの競技で熱戦が繰り広げられました。大会新記録は次のとおり（優勝者のみ）。

【5年男子800m】柳本晴也（山田）、【5年女子100m】山口悠華（大島）、【6年女子200m】赤木星花（紐差）、【6年男子走り幅跳び】山口優一（志々伎）、【5年女子走り高跳び】岡部未来（中野）、【6年女子走り高跳び】小野夏歩（平戸）、【6年男子走り高跳び】増山宝（生月）、【5年女子ソフトボール投げ】松本結菜（平戸）

大迫力！本物の演奏を体感!!

9月27日、平戸小学校体育館で、「子どものための優れた舞台芸術体験事業」としてシアターオーケストラトーキョーによる公演が開催されました。公演では、青山広志先生の指揮に合わせ、「剣の舞」や「白鳥の湖」、フィギュアスケートで有名な「トゥーランドット」など9曲を演奏。さらに、平戸小学校の校歌をオーケストラの演奏で歌うなど、児童たちは、プロの演奏に聴き入っていました。また、児童代表3人が指揮者を体験。初めての経験に戸惑いながらも、一生懸命に指揮棒を振っていました。

平和のメッセージを捧げた戦没者追悼式

10月1日、平戸文化センターで、「平戸市戦没者追悼式」が開催されました。各地区から戦没者遺族や来賓のみなさんなど約400人が参加して、厳かに式が行われました。式典では、各地区から遺族を代表して4人が献花を行い、平戸市連合遺族会会長の畳屋功さんから追悼のことばが捧げられました。

また、平戸小学校6年生90人も参列し、児童代表の献花と献水の後、平和学習で学んだ平和の大切さについてのメッセージを力強く捧げ、平和への誓いを新たにしました。

平戸特選素材
Hirado Delicacies
Vol - 17

シイラ

シイラはコリコリとしまった身と
ほどよい脂がのったうま味が特徴

【シイラづくし、手前の料理：シイラのしゃぶしゃぶ、】

輝く海面、黄金の魚群

平戸の秋の風物詩でもある、トビウオ漁の終わりを告げるように、シイラが回遊してきます。

日本各地で漁獲され、釣る時の手ごたえから釣りに人気の魚です。主に、9月～11月にかけて漁獲され、平戸では、多い時には年間約600tを越える水揚げがあります。

別名で「金山（かなやま）」とも呼びますが、昔、大量に獲れて大金が得られたためと言われています。

刺身や茶漬け、煮付けにするなど、さまざまな食べ方があります。生月地区の伝統料理には、新鮮なシイラの内臓で作る「シイラの塩辛」があります。これは、お酒好きにはたまらない珍味で、この時期になると、「シイラは獲れていないか？」と塩辛を作るために、多くの人が新鮮なシイラを求めに市場を訪れます。

今回、取材させていただいたのは、舘浦漁業協同組合自営の定置網漁の専長を務める藤永雅之さん。

「この時期の定置網は、シイラが主です。舘浦漁港では、全国有数の年間約300tの水揚げがあるなど、主要な魚のひとつです。一度にたくさん漁獲することが出来るのですが、獲れすぎると値が下がります。今後は、鮮度保持の技術向上や加工品の開発など各漁協での努力が必要になると考えられます。また、漁協では、シイラバーガーを開発するなど、シイラの付加価値を高める取り組みも行っています」と藤永さん。

「舘浦漁協の定置網では、ほとんど毎日欠かさず、早朝から作業を行っています。そして、水揚げするだけでなく、普段からの定置網の手入れなど大変ですが、やりがいはあります」と熱く語ってくれました。

舘浦漁協　自営定置網専長
生月町舘浦（38）
藤永　雅之さん
Fujinaga Masayuki

舘浦漁協の定置網で6年前から専長として、2隻の船で、13人の乗組員を指揮しながら、操業を行っている。

◎旬の時期

◎成魚の体長は、2mに達する。エサとなるトビウオを追って、秋にかけて群れで南下してくる。釣り上げられた時に体の色が変化する現象を「シイラの七変化」と呼ぶ。ハワイでは「マヒマヒ」と呼び、高級魚として、フライなどで食べる。

おうちで簡単レシピ

シイラの茶漬け

▲卵を入れることでまろやかな甘みがある

◎材　料（5人分）　シイラの切り身（500g）、生卵1個、つけタレの材料（砂糖、醤油、みりん、ごま、うまみ調味料）

◎作り方

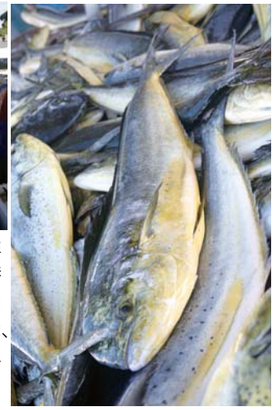
①シイラの切り身を刺身にする。

②つけタレの材料を混ぜ合わせ、卵を入れてかき混ぜ、刺身を入れる。

③温かいご飯に盛り付け、熱いお茶を掛ける。

● 平戸特選素材のシリーズは、今月号で終了します。今まで、取材にご協力いただきましたみなさん、本当にありがとうございました。

今後も、機会あるごとに、平戸の魅力ある食材について、掲載していきます。



▲▶写真上、写真右：早朝に出港した定置網漁船が、たくさんのシイラを積んで帰港すると、一斉に港は活気づき、手際よく出荷作業を始める。▼写真下：生月地区では、定置網のことを大敷（おおじき）と呼ぶ。この日は今年一番のシイラの群れが水揚げされた。

Interview

地域の食文化に欠かせない魚

与平鮨　外山料理店
外山　弘さん
Toyama Hiroshi
◎生月町舘浦（63）

生月にUターン後、家業である寿司屋を継いで、2代目として腕を振るっている。生月勇魚倶楽部の会長も務め、クジラ料理など郷土料理の普及にも取り組んでいる。

シイラはアゴが獲れる時期から2カ月ぐらいが旬で、やはりこの時期に獲れるシイラは、脂、甘みともにちょうどよいです。

生月のおくんちには必ずシイラの料理が振る舞われるほど、生月には欠かせない魚です。

料理には、刺身や煮つけ、じりじり鍋などがありますが、腹身の皮付きのままの刺身を、味噌とわさびをつけて食べると甘みが引き立っておいしいです。

また、上品な白身魚なので、カルパッチョやフライ、ソテーなど洋食にもあいます。

シイラは、刺身など生で食べる場合は、鮮度が落ちるのが早い魚なので、獲れたてのおいしい魚を食べられることは、この地域ならでの楽しみだと思います。

平戸遺産

支石墓と里田原条里遺構

Vol.54

支石墓

田平町の里田原歴史民俗資料館裏手の田んぼの中に、亀の甲羅のような大きな石があります。これは支石墓と呼ばれるお墓です。この支石墓（1号墓）は地面を掘って、板状の石で棺を作り、人を埋葬してから蓋石をかぶせ、その上に大きな石を載せたものです。1号支石墓の東約200mのところにも2基あります。2基のうち1基には大きな石が2個重ねられています。平成13年の圃場整備で周辺の表土を剥いだとき、別に4基程の石棺が確認されました。これは、いくつかあった支石墓が耕作の邪魔になり、上石を動かして重ねたものと考えられます。

里田原北側に宗像神社がありますが、支石墓はその「宗像の鎮座石」と呼ばれ、田植えのときにお祀りするなど、大切に守られてきました。

▲1号支石墓は、水田開発により周囲の土が削られ、石棺が露出したと考えられる

支石墓は長崎・佐賀・福岡など主に九州西部に見られ、縄文時代の終わり頃朝鮮半島から伝わったとされています。人を埋葬する部分は石棺のほか、ただ土を掘っただけの土壙や甕や壷を棺とする甕棺などがあります。長崎県内では鹿町町の大野台遺跡や南島原市の原山支石墓群などが有名です。

里田原条里遺構

今の田んぼは、田植えや稲刈りが機械化されたため、畦が直線で方形の田が多くなっていますが、昔は、地形に沿って曲がった畦の田が一般的でした。しかし、里田原では昔から畦がまっすぐで、1辺約100mの碁盤目状の正方形の区画が見られました。また、蓑坪や五反田という字名があり、これは「条里」（※）の名残とされています。このような条里遺構は、大村市や諫早市など県内では13箇所が知られています。ただ、里田原遺跡の調査で、はっきりとした条里の遺構としては確認できていません。条里の時期は、出土する遺物から鎌倉時代ころまで下るのではないかと考えています。

▲里田原遺跡の航空写真。田んぼがほぼ方形区画に区切られていることがわかる

※条里＝古代から中世後期にかけて行われた土地区画法で、1辺約109m方格（1町）に沿った道や溝と、その内部に見られる規則的な地割（条里地割）。また、条・里・坪という区画による土地表記（条里呼称法）。この両者が一体となったもの。

文化財DATA

- ■名　称　里田原条里遺構
- ■種　別　市指定史跡
- ■指定年月日　昭和43年11月10日
- ■所在地　平戸市田平町里免

Interview

ストレッチ体操で健康貯金を

筋力を保つためには、若いときの2倍動かしましょう

心と体の健康を保てば困難なことも落ち込まずに乗り越えられる。

大塚　ケイ子　ストレッチ指導ボランティア

福祉センターでデイサービスの利用者にゆっくりと体操を指導している人がいます。大塚ケイ子さんです。

珠算教室のかたわら、運動したくなり43歳で3B体操を始め、熱中して指導者の道へ。さらに新しいことにチャレンジしたくなり、大塚ヘルシーサークルを立ち上げました。

今では、各地の祭りなどに参加し、華を添えています。

数年前から個人ボランティアでストレッチ体操などを指導しています。

年齢と経験を重ねて思うのは、困難な場面を乗り越えさせてくれた健康の力です。自分にとって本当に大事なものが見えてきて、サークル活動や地域で、みんなの健康維持のために役に立てることを、とても幸せに思っているの。

高齢者を見ると、90歳になる私の母と重なるのよ。年とともに筋肉は衰えやすくなって、若いときより意識的に体を使う必要があるから、高齢者の健康維持のお手伝いがしたいし、これからは、若いお母さんたちにも、体と心をほぐせるような場を作ってあげたいと思うのよ、とすっきりした笑顔で語ってくれました。

学びの達人 生涯学習
Lifelong Learning
学んでみよう そこには新しいあなたと まちキラリ

生涯学習実践人
大塚　ケイ子さん
◎岩の上町（69）

大塚ヘルシーサークル会長、全国珠算学校連盟長崎県支部代表。

趣味は詩吟で、20年間鍛えたのどを生かしてカラオケも大好き。

少ない休みは、家中のお掃除をしているとか。

黒田市長の平戸初体験記

志々伎山登山

vol.10

日本百名山の一つに数えられ、『平戸検定公式ガイドブック』の第一章の一番目に記載されている志々伎山を登山しました。

当日は、平戸自然遊学塾の塾長・邑上益朗先生、エコーツアーガイドの松瀬強さんと宮田秀雄さんのご案内を頂き、市長公室の松尾主査とともに、夫婦揃ってそそり立つ志々伎山登山への挑戦となりました。

集合場所の駐車場には偶然、福岡方面から5、6人の観光客も居合わせており、お話をお聞きしましたら熟年グループの登山チームの先遣隊として調査に来られたということで、一緒に合流しました。「ロープにつかまってそそり立つ崖を登る」という前評判を聞いていて高所恐怖症の私は、山頂まで耐えられるだろかと心配していましたが、ガイドのみなさんの行き届いた説明やご指導によりとても楽しく山頂まで向かうことができました。また途中には志々伎神社の史跡や昔の人たちの登山の足跡、地元のみなさんの配慮なども至るところに感じられ、さらに志々伎山しか咲かない植物なども鑑賞できました。

山頂では360度に見渡せる絶景に少し足が震えましたが、弁当に持参した塩アゴがとても美味しく、霊山として信仰の対象となっている尊い価値を実感しながら、とても有意義な体験となりました。

▲天空のような山頂で福岡のみなさんとともに記念撮影

▼険しい坂道にはロープが設置してあり、これにしがみつきながら踏破しました

HIRADO X-change

平戸と世界をつなぐコーナー

「人と人の交流から生まれる友好関係」

こんにちは、もう11月になりました。オランダ商館の外観がきれいに見えるようになりました。私は、平戸の商館を見ると、とてもうれしく思います。日蘭関係はもう400年を超え、オランダ商館は、平戸とオランダ交流関係のシンボルになっています。平戸でオランダと日本の貿易が栄えた時代から400年間友好関係が続いていますが、第二次世界大戦当時の日蘭関係を、みなさん、知っていますか？

戦争が始まった時、インドネシアには、約30万人のオランダ人が住んでいました。この時、オランダと日本は戦争を始めてしまいました。日蘭関係の中には、こういう暗い時期もありました。

10月に5人のオランダ人が平戸を訪れました。彼らは、日本の軍人とインドネシア人やオランダ人の女性との間に生まれました。終戦で、日本の軍人は、日本に戻らなければならず、戦後に800人くらいの女性がインドネシアからオランダに引っ越し、その子どもたちがオランダで育ちました。お父さんが日本人だったということは大人になってから分かった場合が多く、その人たちは毎年、日本政府に招待されています。平戸に来たときに、彼らは「日本は大好き」、「日本人ともっと親しくなりたい」と話していました。あらためて、人と人の交流が大切だと思いました。また、オランダとの友好関係は大事なものですが、当たり前のものではないと感じました。11月には、平戸で12×おらんだ交流事業が行われています。人と人とのつながりを大事にして、交流をさらに深めましょう！

今月のおすすめ本

みんなの図書館（としょかん）

このほかにもたくさんの新着図書があります!!

『チーズと塩と豆と』

著／角田　光代・井上　荒野・森　絵都・江國　香織
出版社／ホーム社

ＮＨＫ・ＢＳハイビジョン「プレミアム８」の挿入ドラマの書き下ろし原作です。四人の直木賞作家が、それぞれヨーロッパの田舎を旅し、その土地を舞台に「食と愛」の物語を描いています。

平田

『育ててくれて、ありがとう』

文・絵／葉祥明
英訳／高橋　愛
出版社／サンマーク出版

人は誰もが人生のチャレンジャー、だからハンディキャップはそのための条件の一つなのだ。ハンディキャップという言葉を通して、子どもを育てる意味を考える味わい深い絵本です。

南生

『30日間「禁煙」プログラム』

著／ダニエル・F・シードマン
訳／太田美和子
出版社／ワニ・プラス

長年、禁煙指導に携わってきた著者の経験と、「認知行動療法」の理論を取り入れた禁煙プログラムを紹介。タバコ税の引き上げで、今度こそ「禁煙」を考えている方おすすめの一冊です。

平

『世界のart図鑑』

総監修／レベッカ・ライオンズ、エミリー・シュライナー
日本語版監修／青柳　正規
訳／松浦　直美
出版社／ポプラ社

洞窟壁画から現代のアートまで、国や時代をこえて、様々なアートを紹介しています。芸術の秋、身近にアートを味わってみませんか？

生

『病気にならないきのこ健康レシピ』

著／新出　真理・脇　雅世・松田美智子・ウー・ウェン
出版社／マガジンハウス

「きのこ」は、ダイエット、免疫力アップ、コレステロール排出など体にやさしい食材です。三人の料理研究家が、秋になると美味しくなる、旬のレシピをご紹介します。

平大

『くふうが楽しいいろいろ焼き菓子』

著／宮沢うらら
出版社／汐文社

パンケーキやデコカップケーキなど、簡単な焼き菓子の作り方を紹介しています。覚えておきたい用語や、調理器具についての豆知識も満載！作る機会が多くなる今からの季節におススメの一冊です。

永

※平：平戸図書館　永：永田記念図書館　南：南部公民館図書室　生：生月町中央公民館図書室　田：田平町中央公民館図書室　大：大島村公民館図書室

～図書館からのお知らせ～

平戸図書館　☎22 - 4017
◎休館日／２日㈫・９日㈫・16日㈫・23日㈫・28日㈰・30日㈫
●11月の主なもよおし●
■おはなし会／毎週土曜日　午後２時～
■赤ちゃんおはなし会／10日㈫　午前10時30分～
北部公民館和室大

永田記念図書館　☎28 - 0128
◎休館日／２日㈫・９日㈫・16日㈫・23日㈫・28日㈰・30日㈫
●11月の主なもよおし●
■おはなし会／６日㈯・20日㈯・27日㈯
午後２時～　市ふれあいセンター児童室
■映画会／13日㈯　午後２時～
・14ひきのあきまつり（20分）
・食・からだ・くらしの探検シリーズ（16分）

南部公民館図書室　☎27 - 0047
生月町中央公民館図書室　☎53 - 0541
田平町中央公民館図書室　☎57 - 0207
大島村公民館図書室　☎55 - 2985

◇第６回平戸市児童読書感想発表大会を開催します◇

市内の小学生が本を読んで自分が感じたことを、文や画に表現したものを発表する大会です。

と　き　11月28日㈰　13：00 ～
ところ　北部公民館　大ホール

※当日は、画の入選作品を会場に展示します。

Town's People まちのひとびと CLOSE UP!

Club Introduction
クラブ紹介

「生月剣道スポーツ少年団」 「剣は心なり」

■活動ＤＡＴＡ■

活 動 日／毎週火・木・金曜日
　　午後４時30分～２時間程度
活動会場／生月小学校体育館
対 象 者／生月小学校児童
連 絡 先／代表宅　☎53-0299
部 員 数／35人
参 加 費／1,500円（月額）
代　　表／濵崎　壽利さん（生月町壱部）

生月剣道スポーツ少年団は、昭和33年の生月剣友会結成をきっかけとして、その翌年に結成されました。

練習では、修練を通じて礼節を重んじ、相手を敬う心の習得を指導の基本に、将来社会に役立つ人材の育成を目的に練成に努めています。

８月に行われた第30回九州ブロックスポーツ少年団剣道交流大会では、県代表として出場し、準優勝を果たすことが出来ました。この大会は、九州各県のスポーツ少年団代表の２チームが出場します。全国大会に出場している強いチームも参加する大会で、結果を残すことができてうれしいです。今後も稽古に励み、生月剣道の歴史に新たな１ページを刻んでいきたいと思います。また、現在部員を募集しています。剣道ばかりでなく、クリスマス会など親子レクリエーションも行っています。興味がある人は、ぜひ体育館まで見学に来てください。

「県北ボクシングジム」 「己に厳しく、人に優しく」

■活動ＤＡＴＡ■

活 動 日／月～金曜日　午後７時～午後９時
活動会場／県北ボクシングジム（田平町小手田免）
対 象 者／どなたでもOK
連 絡 先／代表携帯☎090-7471-8926
部 員 数／10人
参 加 費／3,000円（月額）
代　　表／井手　伸幸さん（松浦市）

県北ボクシングジム平戸支部は、10歳代から50歳代まで幅広い年齢層の部員が在籍し、日々楽しく練習に励んでいます。ボクシングというと、殴り合う野蛮なイメージがあるかもしれませんが、普段の練習では、個人の目標に合わせて練習メニューを設定して行い、ミット、サンドバック打ちなどが中心です。実際に、スパーリングをすることは少ないため、気持ち良く汗をかくことができます。ボクシングは、体全体を使う運動で、ダイエットにも最適です。

そのため、ボクササイズとして練習に参加する女性会員も数名います。強くなりたいという思いで練習すれば、体は確実に強くなります。さらに、精神面も鍛えられえ、相手を思いやる心が育まれます。興味がある人は、ぜひジムに見学に来てください。社会人はもちろん、高校生も大歓迎です。誰でも最初は初心者です。当ジムの優しい部員たちが、丁寧に練習をサポートします。

ひらど なかよし おやこフォト vol.5

■呼び方「れおん」
■好きな遊び「ミニカーを並べること」
■興味を持ち始めたこと「運動会で見た踊り」
■天使のしぐさ「ご飯を食べているときの笑顔」

「優しい心をいつまでも大切にね」

お兄ちゃんと同じ服や扱いじゃなかったからと怒ったりするところは、やっぱり次男だなと感じます。保育園に通っているので、いろいろなことを学んできます。最近は、先生のお手伝いをするようになったようで、家でもよくお手伝いをしてくれるています。

お兄ちゃんからトイレの使い方を教わっているところを見ていて、兄弟2人が男の子でよかったと思いました。これからも兄弟が、仲良く大きく育ってくれればと思っています。

青崎（あおさき）　晋一郎（しんいちろう）さん・千枝（ちえ）さん（岩の上町）
玲音（れおん）くん（H21.11.4生）・龍之介（りゅうのすけ）くん（H18.8.6生）

■呼び方「りゅう」
■好きな遊び「つみき遊び」
■興味を持ち始めたこと「物を持って振って遊ぶ」
■天使のしぐさ「笑顔をふりまく姿」

「健康で元気に育ってね」

２人目ということもあり、子育てについて要領が分かってきたので、神経質になることもなく、子育てが出来ていると思います。上の子が、女の子なので、力強く、飲む量や食べる量も多いように感じます。遊んでいるお姉ちゃんを真似て一緒に遊ぼうとしますが、一緒に遊んでもらえないときも、めげずにくっ付いていくところは、とても愛らしいです。男らしいだけでなく、心優しい子どもに育ってくれることを願っています。

木寺（きでら）　元希（もとき）さん・美由紀（みゆき）さん（岩の上町）
龍人（りゅうと）くん（H21.11.20生）・琴梨（ことり）くん（H18.12.15生）

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「クラブ紹介」
スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「なかよしおやこフォト」
発行月にお誕生日を迎える６歳まで（未就学児に限る）のお子さんとそのご両親、またはどちらか一方を募集します。掲載は、先着２組の家族まで。申込期限は、発行月前の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。
〇応募方法　写真に名前・住所・電話番号・メッセージ、家族紹介文を添えて郵便、またはＥメールにてご投稿ください。
※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載とは限りませんのでご了承ください。

あて先　〒859-5192　平戸市岩の上町1508番地３　市長公室秘書広報班　E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

市民の声
Citizen's Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。
広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、
たくさんの声をお寄せください。

▲10月9日・10日に行われたカステラサミットin平戸からの一コマ

今回の応募総数は、13通でした。

先日、初めて10カ月になる息子と2人だけで、近くに買い物にいきました。体重が増えてきた息子を片手で抱っこし、もう片方の手で荷物を持ちながら買い物の支払いをする。大変でした。
子育てママさんたちの大変さが分かった一日でした。
（新米パパ　28歳男性）

● ひらどツーデーウォークに参加し2日間で60㎞歩きました。
自然に恵まれ、若干の起伏もあり楽しんで歩けるコースでした。
CPや給水所でのスタッフや地域のみなさんの声に励まされ、ゴール後は、商品券やおにぎり、あごのプレゼント、抽選会もあり、もてなしの心が感じられる、いいイベントでした。
（遊歩人　54歳男性）

● 中部市民運動場で健康まつりがありました。スーパーゴールやおかし拾いに参加しました。とっても楽しかったです。
（ポテト　女性）

● 10月13日交流広場にて、インドネシアと日本人の間に生まれた戦争孤児で、現在はオランダに住んでおられるらしい人の話を聞きに行きました。
戦争が終わった今も、戦争によって心にも犠牲を負っておられる現状を知りました。
（みこ　43歳女性）

● 食べ物が美味しい秋になりました。家でとれたサツマイモをふかしたり、天ぷらにしたり、大学イモにしたり美味しくいただいています。
次は、スイートポテトを作ってみようかなと思っています。
（ロールケーキ　女性）

● 先日、幕末の志士、坂本龍馬、桂小五郎などが、密議をしていたところと言われている田助の永山邸を見学に行きました。この歳になってこういうことがきっかけで初めて田助に行ったのですが、今日の龍馬ブームに乗って取り上げられ観光地として名前が有名になり、訪れる人が多くなったと聞きます。
部屋の造作や屏風など歴史を感じ感動しました。眼下に開ける田助港が当時「風待港」として天然の良港であり、廻船問屋（かいせんどんや）「明石屋」の繁栄を知ることが出来、また眺望もとても素晴らしかったです。今では、静かな漁師町が、にわかに脚光を浴び、このことを新聞で知りました。
もっともっと歴史を掘り起こして市から発信して市民も知るべきです。
歴史の町平戸市を大いに散策し、「歴女」をライフワークにしたいと思っています。
（歴女バァーさん　68歳女性）

● 私は今、佐世保と長崎で「核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす」高校生一万人署名をしてます。
たくさんの人が、署名活動に興味を持ってくれて、とてもうれしく感じました。ですが、月1回くらいのペースでしか署名活動ができていません。もっと署名活動を増やしたいし、まだまだたくさんの人に、署名してもらいたいです。
署名活動をしたいなど興味ある人は、ぜひ、年間の活動に一緒に参加しませんか？高校生一万人署名活動へのお問い合わせは、長崎県教育文化会館高校生平和大使事務局（☎0957-822-5195）までお願いします。
（CM　17歳女性）

● 暑い暑いと騒いでいるうちに、最近は、すっかり涼しくなりましたね。
秋になり平戸各地では、大小さまざまなお祭りや催し物が開催されていますね。
平戸には、おいしい秋の味覚も多いのでたくさんの観光客に遊びに来ていただきたいものです。
（焼きイモ　25歳男性）

●

PRESENTS
読者プレゼントコーナー

吉善商店「クジラの詰め合わせセット」を５名様にプレゼント！

田平港の日の浦地区にある平戸口吉善商店は、昭和30年からクジラ専門店として創業をしています。平戸には、古くから捕鯨の歴史があり、それに伴って食文化も育まれてますが、その歴史を今も受け継ぐ老舗の商店です。「湯かけクジラ」や「冷凍クジラ」などは、全国の料理店などから注文があるほど人気があります。

また、さまざまなクジラにかかわるものを取り扱っており、中でもここでしか手に入らない、貴重な「クジラのひげの工芸品」の「耳かき」や「茶たく」などがあります。今回は、クジラの詰め合わせ（冷凍クジラ、湯かけクジラ、生皮クジラ、クジラのタタキ）のセットを５名様にプレゼントしますので、ぜひこの機会に味わってみませんか。

◎プレゼント品についてのお問い合わせ
(有)平戸口　吉善商店
〒859－4825　平戸市田平町山内免333番地
TEL　57-0036　FAX　57-2695
ホームページアドレス　http://ww7.tiki.ne.jp/~yosizen/

※プレゼントは、事業所などから提供をいただいています。

市民のみなさんからのおたよりお待ちしています。

郵便、FAX、E－Mailで、氏名（ふりがな）、年齢、性別、住所、電話番号、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。

お便りをいただいた人の中から抽選で５名様に上記商品をプレゼント。応募締切は11月24日（水）当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

◎あて先
〒859－5192　平戸市岩の上町1508番地3
市長公室秘書広報班
「市民の声＆読者プレゼントコーナー」係
▼ＦＡＸ　22－2419
▼E-Mail　kouhou@city.hirado.lg.jp

※市ホームページからも投稿することができます。
※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供いたしますのであらかじめご了承ください。

庭にコスモスの花がたくさん咲いています。自然に種が飛び散ったのか去年より広い範囲に咲いています。
コスモスは、大好きな花です。コスモスの種類にチョコレートのような色をしたコスモスの花があるそうです。なんだかそれはそれで、オシャレだなぁと思います。
ぜひ、その色も植えて増やせていけたらいいなと思っています。
（かえで　女性）

● 先日、空き缶などのゴミ拾いに参加しました。さすが亀岡地区は観光の中心地だけあって、空き缶やゴミは少なかったです。ところが、普段は気付かなかったたばこの吸い殻が意外に多かったのには驚きました。
これからは秋の観光シーズン本番で、ますますお客さんが増えます。愛煙家みなさんのマナー遵守に期待します。
（エコ党　52歳女性）

● 駅伝大会がありました。走る前は緊張しましたが思ったより良い結果を出せたと思います。また出れる機会があったらもっと努力してもっと満足のいく結果を残したいです。
（いちょうの木　男性）

● ※このほか、２通のお便りがありました。

子どもたちの笑顔を守ろう!

健康・福祉
いきいき通信
health and welfare information
vol.05

児童虐待は、特別な家庭だけに起こるものではありません。例えば、子育てについて、「こうしなければならない」などと完璧な親になろうというプレッシャー。核家族化で誰にも相談できずに不安になる。パートナーが育児に協力してくれないなど、地域社会が抱えている問題が要因となって起こります。そのことから、児童虐待はどの家庭でも起こり得る問題です。

【お問い合わせ】
福祉課子育て支援班（☎内線2572）

見過ごすな 幼い子どものSOS

平成22年度「児童虐待防止推進月間」の標語

児童虐待問題は社会全体で解決しなければならない重要な課題です。
11月は児童虐待防止推進月間です。

児童虐待は身近な問題です

全国の児童虐待件数は増加しており、42，664件(平成20年度)で、18年前と比較すると約39倍も増加しています。虐待の内容を見ると、身体的虐待が39・6％と最も多く、次に育児放棄のネグレクトが36・5％、続いて心理的虐待、性的虐待となっています。

虐待を受ける子どもの年齢は、小学校入学前の子どもが42・2％で、小学生が38・1％、中学生が14・5％と、幼い子どもが虐待されていることが多いことが分かります。そして、ニュースなどでもさまざまな痛ましい出来事が報じられていますが、虐待によって、平成20年度は、67人の子どもが命を奪われています。

また、広報ひらど4月号でもお知らせしていますが、平戸市においても児童虐待の件数は増えています。このように、児童虐待の問題は、私たちに関係のない問題ではなく、地域社会の深刻な問題となっています。

児童虐待の背景

子どもが生まれた瞬間、お父さんやお母さんは、子どもに対して愛情を抱き、その健やかな成長を願うものです。しかし、それでも児童虐待は起こっています。なぜでしょうか。

以前の家庭は、大家族や地域のみなさんに見守られながら、子育てを行っていました。しかし、核家族化や地域連携の希薄化などの理由で、親子だけで子育てするケースが増えています。そのことから周りに子育ての悩みを、相談できる相手がおらずに孤立する家庭が見受けられます。

虐待に潜む背景は、複雑な要因が重なって発生していますが、悩みを打ち明けることができずに、ひとりで抱え込むことが、児童虐待につながる大きな要因となっています。

子育てに悩まない親はいません

子育てする中で、悩まない親なんていません。みなさんが悩んでいるからこそ、一人で悩まないように子育てを支援しようとする地域の活動が必要となります。

子育てに不安を感じ悩んだ時は、迷わずに誰かに相談してください。誰でも悩むことです。子育ての悩みをひとりで抱え思い詰めると、児童虐待につながってしまうこともあります。子を持つ親同士で話すだけで、悩みが軽減されたり、解決の糸口が見えてくることもあります。

こんなときは迷わず相談を

①どうやって子育てしてよいか分からないで悩んでいる。
②子どもが言うことを聞かず、いつもイライラしている。
③思うようにいかず、つい子どもをたたいたり、怒鳴ったりしてしまう。
④仕事や家庭環境の理由などで、子育てする暇がない。
⑤どうしても子どもが、かわいく思えない。
⑥パートナーが子育てをしない。

子育ては、このようなことなどで必ず悩むものです。悩みを持ったら、迷わず気軽に相談してください。

【相談先一覧】

●来所・電話相談
佐世保こども・女性障害者支援センター
佐世保市万徳町10-3
☎0956-24-5080
福祉課子育て支援班　☎内線2572

●電話相談
子ども・家庭110番　☎095-844-1117
テレホン児童相談室　☎0956-23-1117

子育てには、地域のみなさんの支えが必要です。

誰でも、最初からうまく子育てをできるものではありません。子育てに慣れるまでには、いろいろな地域のみなさんの支えが必要です。

子育てを経験した人なら、段差でベビーカーを運ぶのを手伝ってもらったり、近所で、「○○ちゃん、大きくなったね」と声をかけられるだけでも、とても心が軽くなった経験をしたことがあると思います。

このように、地域のみなさんの優しい目で、子育て中の親子を見守ることで、それが児童虐待の防止にもつながっていきます。

そして、もし児童虐待かなと思うようなことに気付いたら、「関わりたくない」と思わずに、必ず連絡をしてください。苦しんでいる子どもは、自ら通報することはできません。そして、虐待をしている親は、好んでしているのではなく、どうすればよいかわからないと感じているのです。

そのような親を、早めに救い最悪の事態を避けるために、地域のみなさんの力が必要なのです。

●家庭を支える児童虐待防止のネットワーク

主任児童委員に聞く interview

現在、保育園や学校の行事など子どもの集まるようなところには、努めて顔を出すようにして、積極的にお母さんたちに声をかけるようにしています。「一時保育を利用して、自分の時間を作ったらどう?」と話して少しの時間でも、子どもと離れて育児のストレスから開放できるように話したり、田平地区にあるおもちゃ図書館ひまわり(田平町福祉保健センター内)の利用などを紹介したりしています。このように、家から一歩出て、同じような子育て中の人たちとおしゃべりすることを勧めています。

「最近の若い親は、自分から挨拶しない」と耳にしますが、子育てに一生懸命で、周りにまで気を配れないのではと思います。子育て中の親は、地域の人から、ちょっとした一言をかけてもらうことで、ほっとして気持ちに余裕が出て、次は向こうからあいさつするなどのやりとりが生まれてくるのではないでしょうか。そういうつながりができると、子育てのことを相談できずに悩んでいる親も、困った時に「あの人に相談してみよう」と救われることがあると思います。

子育てを経験した地域の人には、子育てに困っている親がいたら助けてあげたいと思っていても、きっかけがないと手を差し伸べることがなかなかできないこともあります。ですからお互いに、まず挨拶からはじめることが大切ではないかと思います。

主任児童委員
大浦　美知子さん
田平町山内免

自主防災

天災は忘れたころにやって来る③
迫る危険に「地域で備える」

近年、発生している地震や台風、豪雨などの災害の教訓から、大規模災害の場合、防災機関による対応が困難なこともあり、地域のみなさんがお互いで助け合う「自主防災組織」の必要性が言われています。

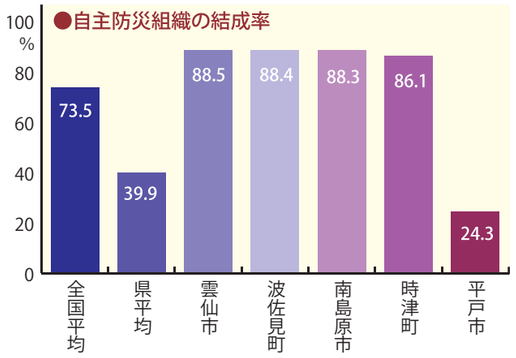
○「自主防災組織」とは

災害はいつ起こるかわかりません。また、大規模な災害が発生した場合には、迅速な支援や救出、救護が期待できないことがあります。このようなことから、地域内で「自主防災組織」を結成することにより、災害発生時の役割分担を整えることで、地域の命を守ることができます。

この組織は、昭和36年に制定された災害対策基本法第5条の2に規定されている「地域住民による任意の防災組織」となっており、主に、町内会や自治会が中心となって、防災活動を行っています。

平成21年4月1日現在で、この組織の全国の結成率は、73・5％、そして県は39・9％です。

組織率が高い地域は、愛知県98・9％、静岡県97・6％、兵庫県96・1％の順で、逆に組織率の低い地域は、沖縄県5・7％、青森県27・0％、次いで長崎県となっています。



全国平均に比べて、県の結成率は低く、その中でも、平戸市は、県内21市町中、18番目の24・3％と、まだ「自主防災組織」に対する認識が低いことが表れています。

しかし、県内でも雲仙・普賢岳噴火災害を経験している島原半島地域などは、災害に対する意識が高いことから、結成率も高くなっています。平戸市の場合は、近年に大規模災害が発生していないために、「災害は起こらないのでは」という意識がどこかに生じているのかもしれません。

このちょっとした油断が、いざ災害が起きた場合、災害による被害をいかに最小限に、抑えられるかの差につながります。

このようなことから、いつ起こるかわからない災害に地域で備えるために、自主防災組織を結成する地域を増やすことが、平戸市の緊急の課題となっています。

●自主防災組織の必要性

「自主防災組織」について、その必要性を強く言われだした理由としては、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災の経験からきています。

このときの大震災では、行政・経済の機能停止という事態に陥り、地震直後に、行政が果たした役割は少なく、最も防災のために、機能したのは、地域住民のみなさんによる活動でした。

このことは、倒壊した家屋などから救出された人の多くが、地域のみなさんによる救助活動で、助けられたと言われています。

●自主防災組織の結成を推進しています

こういったことから、今後、市では、積極的に、担当者などが地域に出向いて、自主防災組織の必要性を説明していきます。

また、地域の危険箇所を示して、災害において援護が必要な高齢者などのみなさんの支援対策を、地域のみなさんと一緒に考えるとともに、自主防災組織のための支援を行うなど、安心して暮らせる地域づくりを推進していきます。

Interview

自分たちの地域は、自分たちで守る

田代地区（田平町）は、１年前の平成21年４月に自主防災組織を結成しました。結成のきっかけは、地区で火災などが発生した場合、消防団や消防署が駆けつける前の初期消火を自分たちで行いたいという思いからです。

この地区では、昔から、協力して農作業を行っていましたので、災害時でも地域で助け合うコミュニティは残っており、以前からも、助け合いながら活動を行っています。今回、きちっとした組織を立ち上げ、自分たちの地域は自分たちで守っていきたいと思っています。

そして、最近、大きな災害は起きていませんが、「災害はいつかは起きる」という考えを持つことが大事ですので、自主防災組織を結成したことで、地域全体の災害に備える心構えができると思います。

また、現在この地域に、災害時に支援が必要な障害者などはいませんが、そういった支援が必要な人がいる場合には、協働の精神で支援することが必要と思います。

今後は、消防団経験者などから災害時の対処方法などを教わりながら、みんなで一緒になって災害に強い地域をつくっていきたいと思います。

田平町田代地区
自主防災組織
森　悦次会長

【写真左】お話をうかがった「田代地区自主防災組織」の世話役のみなさん。【写真右】地区に設置した倉庫には、災害時に備えて消火ホースや消火器、ヘルメットなどの防災器具を常備

●自主防災組織結成までの流れ

①自主防災組織の結成について、自治会の役員会などで提案する。
↓
②地域の危険箇所や災害時に支援が必要な高齢者などを把握して、避難の手順などを検討する。
↓
③基本事項（役員、班編成、規約、など）を決める。
↓
④役員会などで検討し、基本事項の案の了承を得る。
↓
⑤自治会の総会で、可決する。
↓
⑥自主防災組織の結成

●自助・共助・公助の連携と協働

防災対策の原則は、地域のみなさんが自分自身を守ることです。この自助の考え方を前提に、地域の安全をお互いに助け合って守る共助と、市などの公的機関が行う公助で補う仕組みであることをお知らせしてきました。

災害の被害として最も深刻なのは、人命を失うことです。災害による被害を完全に抑えることはできませんが、住民のみなさんと行政が連携し、地域の防災力を高めることで、被害を最小限（減災）に抑えることはできます。

減災の事前対策として、住宅の耐震化、必要物資の備蓄、家具の固定といった家庭での備えが必要です。そして、自主防災組織を結成するなど災害に関する知識の習得、緊急時の行動の把握など地域での取り組み。これらの準備が整っていれば、地域への被害を抑えることができるとともに、復旧までの時間が短縮できます。

個人と、個人の集団である地域と、行政とが力を合わせて、災害で人の命を失うことのない、災害に強い平戸市を一緒につくっていきましょう。

【お問い合わせ】
総務課行政班（☎内線２３１４）

募集

INVITATION

平成23年度平戸幼稚園園児を募集します

申・問平戸幼稚園 ☎22-2810

○**募集対象者**　5歳・4歳児（平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれの幼児）
○**保育時間**　午前8時30分～午後2時
○**保育料**　5，500円（月額）
※このほか、給食費、教材費、育友会費など、月額6，500円かかります。
○**申込方法**　平戸幼稚園、または学校教育課に備え付けの入園願書に必要事項を記入して、平戸幼稚園にお申し込みください。
○申込期間　12月1日（水）～平成23年1月31日（月）
※ただし、所得制限があります。
○**対象者**　父子家庭の父と子
○**受付期間**　11月8日（月）～19日（金）
○**受付場所**　福祉課子育て支援班、または各支所市民協働課、各出張所
○**持参するもの**
①印かん
②父と子の健康保険証
③金融機関の通帳
④児童扶養手当証書、または遺族年金証書など
※すでに、児童扶養手当の受給資格をお持ちのみなさんには、別途通知します。
　また、父子家庭で、まだ児童扶養手当の申請がお済みでない人は、11月30日（火）までに手続きをお願いします。

食育講演会を開催します

問保健センター健康づくり推進班 ☎内線3763

　食事を見直すことで小中学生の低体温が改善した、集中力や学力が向上したなどの食が持っている力についての食育講演会を開催します。
　食でもっと元気になるために、そして、食べ物への感謝の気持ちを育む講演会です。ぜひ、お気軽にご参加ください。
○**とき**　11月23日（火）午後2時～午後4時30分
○**ところ**　たびら活性化施設
○**講　演**　「大地の生きる力、いたきまぁす～おいしく楽しく目からウロコの食の話～」
○**事例発表**　岩崎　美佐子氏（ひらど新鮮市場参事）、近藤　孝子氏（環境アドバザー）、中村　紘子氏（平戸小学校栄養教諭）
○**入場料**　無料

講　師
吉田 俊道 氏
（大地といのちの会理事長）

【プロフィール】平成11年「大地といのちの会」を結成。行政と協働して、子どもたちにおなか畑の土作り体験などを広げている。

県北保健所管内の健康情報マップをつくりました

問保健センター健康づくり推進班 ☎内線3761

　市では、県北保健所と連携して県北管内で行われている健康教室や公民館講座の紹介、運動施設、健康・禁煙相談に関する情報などを掲載した「健康情報マップ」を作成しました。
　この「健康情報マップ」は、保健センター、および本庁長寿保険課、各支所市民協働課、各出張所の窓口で閲覧することが出来ます。
　また、市および県北保健所のホームページからもご覧いただけます。
　ぜひ、みなさんの健康増進のために、ご活用ください。

Information

成人の門出を祝い、平成23年成人式を開催します

　各地区の成人式の日程は、次のとおりです。

地　区	とき（平成23年）	ところ
平戸地区	1月3日（月）午後1時～	平戸文化センター
生月地区	1月3日（月）午前10時～	生月町開発総合センター
田平地区	1月4日（火）午後1時30分～	田平町民センター
大島地区	1月4日（火）午前10時～	大島村離島開発総合センター

◎市役所各課へは代表番号（☎0950-22-4111）からお回しします

お知らせ

INFORMATION

父子家庭のみなさんへ福祉医療の対象が拡大されます

問福祉課子育て支援班 ☎内線2575

　現在、母子家庭を対象とした福祉医療制度が、12月1日から父子家庭のみなさんへも拡大されます。
　対象となる人は、期間内に申請手続きをお願いします。

狩猟解禁のお知らせ

問農林課農林整備班 ☎内線2263

　11月15日から平成23年2月15日まで（イノシシの捕獲に限っては平成23年3月15日まで）狩猟が解禁となっています。
　法令で定められた鳥獣保護区などの規制区域、人家のある場所、公道、公園などを除く山野、海岸などで狩猟が行われます。狩猟期間中の山歩きには、ご注意ください。

「ながさきの半島」フォトコンテスト3半島作品展を開催します

問企画課政策企画班 ☎内線2336

　半島地域魅力発見委員会により開催された「ながさきの半島」フォトコンテストでは、半島の魅力が詰まった作品の応募が多数ありました。
　今回、半島地域のその魅力を伝えるために、県内3会場にてフォトコンテスト入賞作品展を開催します。
　なお、平戸文化センターと雲仙会場では、北松浦半島地域の魅力をプロの芸術家により「紀行文」、「絵画」、「写真」で表現した作品展も併せて開催します。
※「ながさきの3半島」とは、北松浦半島、島原半島、西彼杵半島地域のことをいいます。
○**ところ**　平戸文化センター
○**とき**　11月27日（土）午後0時～午後7時　11月28日（日）午前9時～午後5時
○**入場料**　無　料
○**プロの芸術家**
【紀行文】荒岡　弥生氏
【絵画】中倉　奈津美氏、瀬﨑　正人氏
【写真】中倉　壮志朗氏、浜崎　さわこ氏
▼**雲仙会場**
○**ところ**　吾妻町ふるさと会館（雲仙市吾妻町牛口名537番地1）
○**とき**　11月16日（火）～21日（日）午前8時より午後10時
▼**長崎会場**
○**ところ**　三和公民館（長崎市布巻町88番地1）
○**とき**　11月14日（日）午前10時～午後5時

新型インフルエンザ予防接種について

問保健センター保健サービス班 ☎内線3713

　10月から新型インフルエンザの予防接種を各医療機関で開始しています。
○**今シーズンのワクチン接種**　新型インフルエンザ（1種類）と季節性インフルエンザ（2種類）の3つに効果がある3価ワクチンです。
　また、昨年のように優先接種対象者は定めず、すべての人が対象です。
○**接種回数**
①13歳未満の人　2回接種
②13歳以上の人　1回接種（ただし、医師の判断により2回になる場合もあります）
○**接種費用**　左の表のとおり。
○**負担軽減について**　市民税非課税世帯と生活保護世帯の人は、全額無料となります。接種の際には、次の書類をご持参ください。
○**必要書類**　市民税非課税世帯は、市役所税務課、各支所市民協働課、各出張所で「非課税証明書」を、生活保護世帯は、市役所福祉課で「生活保護受給証明書」の交付を受けてください。

区　分	1回目	2回目
1歳から就学前の幼児	3,000円（本人負担1,000円、市補助2,000円）	2,500円（本人負担1,000円、市補助1,500円）
65歳以上の人	3,500円（本人負担1,000円、市補助2,500円）	
上記以外の人	3,000円（本人負担のみ）	2,500円（本人負担のみ）

Topics

パスポートの交付が始まりました！

　10月12日、市民課窓口で、平戸市初のパスポート（旅券）の交付が行われました。パスポート（旅券）を受け取る本人を確認し、パスポート（旅券）について各種留意事項などの説明を行った後、申請者へ黒田成彦市長が交付しました。交付は、市民課窓口のみですが、申請は、各支所市民協働課、各出張所及び度島連絡所でも行っています。市民のみなさんのご利用をお待ちしています。
【お問い合わせ】　市民課戸籍住民班　☎内線2523

◎市役所各課へは代表番号（☎0950-22-4111）からお回しします

お知らせ INFORMATION

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されます

問長寿保険課国保年金班 ☎内線2593

国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象となります。平成22年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人については、11月上旬に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されます。年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書、または領収書を添付してください。

なお、10月1日から12月31日までの間に今年はじめて国民年金保険料を納付した人については、来年の2月上旬に送付されます。

地上デジタル放送についてのお知らせ

問企画課情報統計班 ☎内線2339

地上デジタル放送受信相談会を開催します

現在の地上アナログ放送は、平成23年7月24日に終了し、地上デジタル放送に移行します。地上デジタル放送に移行すると、これまでのアナログテレビで、テレビ放送を見ることができなくなります。地上デジタル放送を見る方法が分からない人などに向けて、次の日程で「総務省長崎県テレビ受信者支援センター（デジサポ長崎）」による無料相談会を開催します。お気軽にご参加ください。

相談会日程

地　　区	と　き	ところ
平戸市多目的研修センター１階ロビー	12月10日（金）	午前10時〜午後５時
	12月11日（土）	
平戸市ふれあいセンター１階ロビー	12月12日（日）	
	12月13日（月）	
平戸市役所本庁１階ロビー	12月14日（火）	
	12月15日（水）	
平戸市役所田平支所１階ロビー	12月16日（木）	
	12月17日（金）	
生月町中央公民館１階ロビー	12月18日（土）	
	12月19日（日）	

平戸北局（勝尾山）から受信している世帯のみなさんへ

平戸北局から地上デジタル放送の電波は、送信されません。

現在、地上アナログ放送を平戸北局から受信されている世帯が、地上デジタル放送を受信するには、ほかの中継局にアンテナの向きを変える必要があります。

○地デジに関するお問い合せは、デジサポ長崎へ

☎095－804－5500

秋の全国火災予防運動が始まります

問消防本部予防課 ☎内線2134

これから冬場にかけて暖房器具の使用増加や空気の乾燥などで火災が起こりやすい季節になります。これに伴い秋の全国火災予防運動が11月9日（火）から11月15日（月）まで実施されます。この運動は、大切な生命、財産を火災で失うことのないよう一人ひとりが火災予防の大切さを認識し、「火の用心」を心がけるために行われるものです。

火災はちょっとした不注意から起こります。「私のところは大丈夫」の考えを「もしかすると」にあらためて、火災を起こさないように注意しましょう。

長崎県の最低賃金が変わります

問商工振興課商工振興班 ☎内線2278

長崎県の最低賃金が、11月4日（木）から次のとおり改正されます。

○変更内容

629円→642円（1時間当たり）

任意整理・過払金返還請求！
消費者金融等と約10年以上の取引がある方・消費者金融等の借金を完済した方は
相談無料
秘密厳守
西九州総合法律事務所
佐賀県弁護士会所属
弁護士 福田 大志
完済した方は自己負担金ゼロ！
取り戻した過払金の中から成功報酬をいただくのみです。
詳しくはお電話、またはブログをご覧下さい。
http://fukuda-hiroshi.seesaa.net/
要電話予約
☎0954-27-8056
受付／（月〜金）9:00〜12:00 13:00〜18:00
佐賀県武雄市武雄町大字武雄5650-26

◎市役所各課へは代表番号（☎0950-22-4111）からお回しします

お知らせ INFORMATION

屋外広告物の掲示には申請が必要です

問都市計画課まちづくり班 ☎内線2282

市では、平戸の美しい景観を守り、育み、活かすため、景観計画を策定し、昨年から景観条例を施行しています。

屋外広告物（①）を表示・設置する場合には、必ず市へ申請してください。

一定基準の自家広告物（②）は、申請が不要となる場合がありますので、都市計画課まちづくり班へご相談下さい。

また、道路上にのぼり旗や立看板を立てたり、電柱やガードレールなどに、はり紙やはり札を取り付けることは、条例で禁止されています。ルールを守って、みんなでまちの景観を保ちましょう。

○申請方法　都市計画課、または各支所産業建設課、各出張所に備え付けの申請用紙に必要事項を記入して、申請してください。

①看板・立て看板・張り紙や広告塔・広告板など、屋外で常時、または一定の期間継続して公衆に表示をする広告物

②自己の氏名、店名、商標、営業内容を表示するため、自己の住所、事業所、営業所などに表示する広告物

景観条例の内容は、市ホームページでもご覧いただけます。

募集 INVITATION

公営住宅の入居者を募集します

申・問都市計画課総務住宅班 ☎内線2284

入居を希望する人は、申込書に添付書類を添えて、都市計画課、または各支所産業建設課にお申し込みください。

○募集戸数　11戸

①平戸地区　3戸
②生月地区　2戸
③田平地区　5戸
④大島地区　1戸

○申込期限　11月10日（水）

※郵送でも受け付けます。（必着）

○申込資格　原則として、次のすべての要件を満たしていることが必要です。

①収入が公営住宅法施行令に定められた基準内であること
②住宅に困っていること
③地方税などの滞納がないこと
④特定公共賃貸住宅については、同居または同居しようとする親族があること

○添付書類

①世帯全員の源泉徴収票、または所得証明書
②納税証明書
③住民票謄本

○選考方法　募集戸数を超えた住宅については、抽選により選考します。

なお、抽選会は、11月下旬に開催予定です。

※抽選会の開催については、該当者に後日通知します。

【注意】入居決定後に入居を辞退することがないよう、事前に十分検討したうえでお申し込みください。

NAGASAKI起業家大学の受講者を募集します

申・問商工振興課商工労政班 ☎内線2278

起業に興味がある、新規事業分野への進出を考えている人を対象としたセミナー「起業家速成短期コース」を開催し、受講生を募集します。

起業の心構えやマーケティングなど事業を始める前に必要な準備や検討事項などについて分かりやすく説明するセミナーです。

○とき　11月20日（土）・21日（日）午前10時〜午後5時

○ところ　たびら活性化施設

○講師　有限責任監査法人トーマツ

○受講料　無料

○定員　30人

※受講希望者が10人に満たない場合、セミナーを中止することがあります。

○募集締切日　11月15日（月）

○申込方法　商工振興課に備え付けの申込用紙に必要事項を記入して、お申し込みください。お電話でお申し込みする場合は、申込書を送付します。

好評の選べる鍋を4種類用意。お好きな鍋をチョイス！
①海鮮鍋（寄せ鍋風）
②山賊鍋（味噌仕立て）
③豆乳鍋（豆乳仕立て）
④鶏水炊き（牛乳仕立て）
お一人様 3,675円（税込）
しゃぶ鍋、鉢盛り、会席もご用意しています。
各プラン共通飲み放題プラン
ビール・焼酎・日本酒・ソフトドリンク
Aコース 120分→2,500円（税込） 90分→2,000円（税込）
上記にプラス、ワイン・冷酒・酎ハイ
Bコース 120分→3,500円（税込） 90分→3,000円（税込）
各プラン共通特典
①入浴料無料
②平日割り
平日割り（日曜〜木曜）ご利用の場合、料理代から5％OFF
平日昼割り（上記曜日の11時〜13時開始）の場合、更に5％OFF
③ご宿泊特典（一泊朝食付）
1〜3名様以上
割安価格でご提供いたします。
※除外日　12月30〜1月3日
平戸海上ホテル HIRADO KAIJYO HOTEL
〒859-5102 平戸市大久保町2231-3
お申込・お問合 TEL 0950-22-3800
http://www.hiradokaijyohotel.co.jp

◎市役所各課へは代表番号（☎0950-22-4111）からお回しします

シンポジウム「平戸－海外に開かれた自由な港市－」を開催します

問 生月町博物館・島の館 ☎53-3000

海外貿易港として長い歴史を持つ平戸には、大航海時代、ポルトガル、オランダなどから貿易船が来航。「西の京」と称され、繁栄を謳歌していました。

シンポジウムでは、交流史、経済、民俗など各分野を代表する研究者が、港市・平戸について研究成果を報告します。

○**とき** 11月7日(日) 午後0時30分～午後4時50分
○**ところ** 平戸文化センター中ホール
○**入場料** 無料

北松農業高等学校「農業文化祭」を開催します

問 北松農業高等学校 ☎57-0512

○**とき** 11月20日(土)午前10時～午後3時、21日(日)午前9時30分～午後1時30分
○**ところ** 北松農業高等学校
○**内容** 研究発表展、生徒が生産した農産物や加工品などの販売、牛丼のバザー、PTAによる餅つきなど。

佐世保高等技術専門校「みんなの技能のひろば」を開催します

問 佐世保高等技術専門校 ☎0956-62-4151

○**とき** 11月28日(日)午前10時～午後2時
○**ところ** 県立佐世保高等技術専門校
○**内容** 訓練生が制作した作品の展示販売、エコカー展示、作品つくりに参加する体験コーナーなど。

光のフェスタを開催します

問 (社)長崎県公園緑地協会 ☎57-0309

田平公園を10万個のイルミネーションで彩ります。初日は、ライブステージや太鼓や演舞などのイベントを開催しますので、お気軽にお越しください。

○**とき** 11月14日(日)午後3時～(点灯イベント)、午後6時～(点灯式)
○**ところ** 田平公園内「花のステージ」
○**点灯期間** 11月14日(日)～12月26日(日)午後6時～午後10時

平戸市・松浦市合同知的障害者地域福祉推進会議を開催します

問 長崎県手をつなぐ育成会 ☎095-846-8730

在宅知的障害者の社会参加など知的障害者の自立した生活のために、地域ネットワークづくりを目指した知的障害者地域福祉推進会議を開催します。

○**とき** 11月13日(土)午後1時～午後4時30分
○**ところ** たびら活性化施設
○**内容** 講話「福祉活動のこれまで、これから」、研修「母親もいきいきと」(家族支援プロジェクト)

相続、または贈与などにかかる生命(損害)保険契約などに基づく年金の税務上の取り扱いの変更について

問 平戸税務署 ☎23-2131

相続、贈与などにより取得した生命保険契約や損害保険契約などにかかる年金の所得税の取扱いが変更になりました。

この変更で、平成17年から平成21年分までの各年分の納めすぎていた所得税が還付になる場合がありますので、最寄りの税務署にお問い合わせください。

○電話でのお問い合わせの場合、自動音声案内で「0番」を選択してください。

年末調整説明会のご案内

○**とき** 11月17日(水)午後1時30分
○**ところ** 平戸文化センター中ホール

シベリア戦後強制抑留者への特別給付金の請求受付が始まりました

問 独立行政法人平和祈念事業特別基金 ☎0570-059-204

○**対象者** 昭和20年9月2日以後旧ソ連邦、またはモンゴル国の地域に強制抑留された人で、日本国籍を有する(平成22年6月16日現在)ご存命の人
○**受付期間** 10月25日(月)～平成24年3月31日(土)
○**請求方法** 当基金より対象者あてに請求書類をお送りします。必要事項を記入して、ご提出ください。

労災保険を適用して
安心して療養を
労災職業病無料相談会
平成22年11月12日(金)13時～16時
平戸市ふれあいセンター 会議室A
(平戸市紐差町)
じん肺
難聴
振動病
建交労 九州支部長崎分会 ☎0120-670-672

労災職業病無料相談会を開催します

問 建交労九州支部長崎分会 ☎0120-670-672

職業病を発生させない職場、労働災害の絶滅を目指し、労災職業病問題の相談会を開催します。

○**とき** 11月12日(金)午後1時～午後4時
○**ところ** 平戸市ふれあいセンター
○**内容** じん肺・振動病・騒音性難聴などの労災職業病に関する相談会。

元気なよい子に 誕生

赤ちゃん	保護者	行政区
【平戸地区】		
藤原 奏真	雄哉	上大垣
神田 雄翔	誉	上大垣
井上 旺甫	清輝	猪渡谷
浜本 南々帆	和仁	堤
松永 朋華	共広	稗田
嵜村 芹奈	勝也	向月
山田 明里	浅美	根獅子第3
井元 粋	正信	度島中部
森 愛葵奈	英明	上大垣
【生月地区】		
石川 友翔	啓二	山田
【田平地区】		
【大島地区】		
中倉 寿珠	宏視	永田
中野 陽菜	諭	西神浦

ご冥福をお祈りします 死亡

氏名	年齢	死亡日	行政区
【平戸地区】			
脇川 一	80歳	8／21	稗田
中島 チノ	89歳	9／16	田原崎
辻 クニ	85歳	9／17	根獅子第3
浜崎 仙一	89歳	9／19	木ヶ津第1
豊里 フジヱ	93歳	9／21	紺屋町
杉村 ヲト	96歳	9／22	堤
神山 壽美枝	70歳	9／23	獅子第1
岩永 勝彦	50歳	9／26	幸の浦
川渕 フサヱ	78歳	9／28	中野大久保
松山 榮一郎	95歳	9／30	木場
池田 ミヨ	91歳	10／5	薄香越
永石 博	63歳	10／5	鮎川
吉田 絹子	75歳	10／6	上大垣
川渕 英昭	77歳	10／7	木場
本山 清子	83歳	10／13	山野・白石
徳永 ミス	98歳	10／14	上中津良
【生月地区】			
小松原 ナツ	97歳	9／17	山田
本石 共昌	89歳	9／23	元触
山市 雅康	83歳	9／28	浦北
金子 フクヱ	98歳	9／28	舘浦浜
富永 嘉傳雄	87歳	10／3	山田
土田 ミサヲ	90歳	10／4	浦南
山口 仁市	82歳	10／6	元触
【田平地区】			
松田 久之	86歳	9／24	平戸口
藤谷 清	87歳	9／25	永田
林 好子	85歳	9／27	永田
末吉 ヤス	91歳	9／30	西荻田
吉福 秀男	78歳	10／2	永田
冨浦 冨男	80歳	10／9	野田
橋本 美智子	71歳	10／10	野田
【大島地区】			
池下 恒	86歳	9／1	前平
白石 ミツ	91歳	9／27	大根坂
大浦 裕二	62歳	10／7	東神浦
田中 鈴子	80歳	10／14	東神浦

(9／16～10／15受付分)

■「やらんば！平戸」応援寄付金

○匿名希望 1名

平成22年10月14日現在
4件 156,000円
ご協力ありがとうございました。

■9月の交通事故

件数	61件(64件)
死者	0名(0名)
負傷者	81名(76名)
(重傷)10名	(軽傷)17名

■9月末までの火災救急件数

火災	21件(20件)
救急	1,172件(1,074件)

( )内は昨年同期

想いをかたちに…
故人と語らい、自分を見つめ直す…
お墓は大切な家族の記念碑です。
墓石・記念碑・設計～施工
有限会社 松永石碑店
〒859-5704
長崎県平戸市生月町山田免2331
TEL 0950－53－2816

きでら耳鼻咽喉科医院
KIDERA CLINIC

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	○	○	○ ～14:00	○	○	○ ～14:00
15:00～19:00	○	○	－	○	○	－
休診日	日曜・祝日					

〒859-5113 平戸市木引田町414番(きでら薬局2階)
TEL:0950-23-8733 FAX:0950-23-8739